● 地區→用項份公東市沙大● 社報日 訓誦社會式 は、所行

兩軍を 1.800CC(-#)\$5.00

でいた日、南山麓は孫熊岩氏のついた日、南山麓は孫熊岩氏の神宗による宴會が開かれた 対容には辛島紫長、田中大連市

仙人は現在する 走 馬

積燈

小説「雌遊記」について話がは、 町へ館ら道具質ひにいつたのだ何んでもその前夜、孫氏が深速 孫氏が源迹

うんだ。

でも除り知られてゐないが、面。潘後元畿理は、わの小説は支那

離れず太原に居寝るここに決定し明なる理由か不明だが暫く山西を からるるさいひ出すさ、李徳芳のいひ、あんな低人は立かには智いもので、覧名は緑野健院されてもないが、面

料理の日本化さらいふべき

人日本式の器物

りる

よい

今でも住きて居るさ

僧院は後に起り、些酒し

支那の時局な、この他人は何れにもても走馬機のやうに悪

明に寛成した巨過ぎないものであってするこそれは安都の近代交

日気めつトある安那

山の奥で、一見五十歳億に見え場所は安徽省領州の黄山さいふ

総なが至はも

。そしてその他人 0

も落世の壁のやうなものにす

・ であさまた謎かと戦性の金剛山 である。 後の幾つかわからないのが居るさいひ出す。 想は安那では不思議さされ

サンターの思想が使入したこ同 インターの思想が使入したこ同 だやうに大鵬ぎをした。しかし 形似は必麼的安那に定く曖昧せ りれて電歌かして一陸の光彩を 渡來した時も、今日支那に第三

中心さした立際館の東の支那はといふが、遺物の他人の思想を必要がある。 その根据を識れてゐるの

道程を接ばてぬるに過ぎないの なく、たく支那の民族幹館への なく、たく支那の民族幹館への 数年前來の勢農ロシャの第三イ

・ 地帯で緩でやいを撒し你べきもの 人が着性するか見當つかずい他に

地震人さなるらしいので思して

所事課長等は日下願内に有養格

を避る。女明の常繁に 他能支那を幸ひにする、定馬佐 の場合。女明の常繁に 女明の対性化はその民

長たる三事務官

輸入され金州の将田署長は居ったる三事務官の中一名は内地 ト馬評に 上ってゐる

次の支電具格による最初の民政を列車してみるこすれば、先づ

た量付する意志はないを願った

りて、他の一名は目下同郷内における際一人の概能なる有資格者たるでし、面して独身さなるべく。面して田中もで発表さなるべく。面して田中もで発表されるべき。面して田中は大沙長の場合では、一大学表演出中の三世事前後世及び 便相已

東京便箋



保護劑 皮膚の コドヤの 歩デャン向きの 石鹸 てす お肌を保護して目にしまね

局には地方課の古参十河脈の就任

當面の重要諸問題協議 を終であるが、これ等山西、奥西等の都後間駆を政治能に解決する 等の都後間駆を政治能に解決する 後その軍隊が関補に解決される **鹿藤麟氏の代表さ協議してゐる一** 、山西軍は完全に平滅線か 至つてはなる多數大風に鑑止まり、財産は自されるは軍隊 目されてゐる、職、職難はないが中央の野陜西間壁です。 とうとのがある、これ等は陜西の際氏の下野は全体膨大を下野 べきとのがある、これ等は陜西の際氏の下野は全体膨大を下野 べきとのがある、これ等は陜西の際氏の下野は全体膨大を下野 べきとのがある、これ等は陜西の際氏の下野は全体膨大を下野 できるのがある。これ等は陜西の際氏の下野は全体膨大を下野に大影響ありさせられ迎く大といい、最も注目される。 ない。 これ等は 一般では ないが 中央の野峡西町 はないが 中央の野峡西町 はないが 中央の野峡西町 はった かられたく 大 に いっぱい からい これ いっぱい こと こん いっぱい こと いっぱい こん いっぱい いっぱい こん いっぱい こ 院海 線の西がへ起ってる

を するならこれ等の人々も時様敷拾 でしこの意見を解京側において承認 を しこの意見を解京側において承認 であるならこれ等の人々も時様敷拾

入成績

本州產軍馬購

失業公債の

發行否定

氏の希望もあるがなほ末定であ

つたのは事質だがその軍隊の大部

に最近

大沽、石家莊間

鐵道敷設を計畫

熱河省政府當局が

・ 英帝國師會の結果左の二項が明白さなつた
・ 英帝國間の自由貿易主義は絶對する質使のみなる事
・ 関する質使のみなる事
・ 関する質使のみなる事
・ 関係には同意出来の

氏に博士號

ス帝國内の自由貿易主義は近に無難した。 全英帝國職會の結果左の二項が 明白さなった

しめたではないかっ

職る

擴大 食師の人々は「勿能

蔣張會見の用務

四次全體會議前に會見す

し目下隔者の間に時

関の交換あるべく更に群が石氏は 見の交換あるべく更に群が石氏は であるで、駅政の歌季郷事

海軍大演習 御慰勞賜餐

多数の海

莫全權や召還 善後策協議か

化した内に

停機でる際支倉職の器後方法開軍の警後處役

軍隊の處置至難

司命官、谷艦隊司

政治的解決に腐心

馮下野するも

近められてゐるが、大 歌東に関るこさにならう 歌東に関るこさにならう 歌東に関るこさにならう

を配って執យを控してるる、劉能な、崇野元氏らしては総め解於森、戦軍に速かに陝西へ入るでうが会しては総め解於森、戦軍を除く彫々に城崩す一次湖赤子でく決定した。

陝西 比戦については郷玉

停頓した露支交渉 機関級レーニン。モロージ級の姉の歌家人は、比較における共産館の

宮中に参照を要すに参照を要す

運搬のため二龍龍印蘇車三葉價格。見たいさいふのであり、應水運搬就吹中であるが、衛生課では屎尿。際して臭れゝば武廠協に使用して大連市では目下昭和六年度饗覧の一高くなるがこれな妊化料さして説

市衛生係新施設

豫算一萬七千圓計上

野藤嗣殿 静瀬 財務職長又は本郷山中(徳)職が存力職されてなるが一跳には他子高長政器長は今風響

海軍進

ふ海軍省で

北上、安憲殿機関に破験あるもの地上、安憲殿機関に破験あるものが地上、安憲殿機関に破験あるもの

管はその職物が議職及び運能展の

+

一月新

北四省総部會議の結果にあるが、 樂觀說が、称かである、な 妹紙さもてフン・ティ紙を秘密神機関級レーニン。モロージ級の姉

英議會け

か開會

・ 電影は前記の脳内において行はる ・ 大連地が騒長の緊進も危ふく從つ ・ 大連地が騒長の緊進も危ふく從つ ・ 大連地が騒長の緊進も危ふく從つ ・ 大地のできないでは今次の暴騰ら

當分缺員 の盛さするかさ

新小貝お江戸八景

喜正子

*** 木甘節、新碳節**

佐々木清子

とものではないかさ見られてある

大觀小觀

皇帝親~

はて本を職に離むため製蔵製氏を 地全権に するこさに反黙 事業の緊要 してるるためでありさいした局際 事がお要なるものでも 事業の緊要 主機により総職すべきものである を観け南京政府が中央総一政府さ を観け南京政府が中央総一政府さ

一昨秋の御大息以来がかっ 大行戦である五世陛下には上院報 をより御後戦を御城議選任された でその影戦中に今時舎の帯観の一 さして選撃法戦正が明示されてある。

英國政界の危機 にある さの学句を議會で可決せんさす

英自治領の 自由貿易

解天がガラわきにならう。 を表示を多戦、要路に なるといふの繰り接機されるさ を表示を多戦、要路に

高 歳高速度忠臣職 柳家三太部 語ジャズ 息子 三遊亭金部 語ジャズ 息子 三遊亭金

が氏、後然、政治解決に急にもて共興、問題とせて。

能職の食具、楽月、

東、楽月、天津か常島

關東廳大異動の 顔ぶれ觀測

日英米修件谷岡、共同印献版を を対けない。

東子送の印織 天中軒雲

取時計の歌、茶摘な

日東**蓄音器株式會社**

戦人就のみぎり、酸根さ法根の

0

の景格その他に伴ひ目下事務管四名、刑事課長)と都合高等官記載の景格その他に伴ひ目下事務管四名、刑事第一名(謝務録)警務一 太田長官歸任後實現

政府、海軍首腦部に 大名献員 が出来たので、 を特色中である、職して今次の宿 を特色中である、職して今次の宿 を特色中である、職して今次の宿 能囲薬解決か。

をスクタに配置することを見合し、 心理すむさした関名の代表は一時 のである。

を選べて要行家に感を告くるに変い のた。即ち今類議會は重要議案が のた。即ち今類議會は重要議案が

財政難を説明し

極力諒解を求む

ル迎へて繁行戦に感を告ぐるに変 リス政界は二十八日の議會開院式 第一

一、勞動器内閣は規閣に禁心を提

ルド首相は左の処し答案ともイギリーをの下院において保治室を首ボール

形勢は政府側に不利

英政府は反對

自衛的武裝 破血團に對し

長江共匪の暴虐に

列國が共同自衞策

東鐵西部線不安

1 開京で交渉を開始され、

せむさする意

医療職は耐取政府が英全機に代つ

莫德惠全権に代つて

グ授票が何で大勢が続くさ。いづ 英國議會も印由際のキャステン れも同じ世の中から 書館中央山殿の粉社に繋跡が起

000

公章では近極等長等機にそれで、日間土首の御に格で御入隊田宮、李鍵公両殿下御任官 特国宮恒

操業の設備ある 8 発合自動

支那趣味タツプリ

九日午前艦口より陸奥公司所有機能を入れたもので如何にも支那機

包み切れぬ 養母の喜び

を受ける参子は報天途町八番地平極義政者さいよ年蘭十五歳の中郷な少年、ひこりは暫日家庭館とてこの存意義なる表験を宿ふこさになつた、全済幾十萬の邦人中から選ばれ帰れの表により恵出といた。全済の孝子騒孫中より核に妻職命物さ謎められる左記二名の孝子、騒孫脱出に際し、全済の孝子騒孫を表談すべく郷に家職命物さ謎められる左記二名の孝子、騒孫脱者は日底に、全済の孝子騒孫を表談すべく郷にかれた。周東城では我が親斉吏上校記すべた。

を引受け夜の十二時を過ぎて除る 教料さするに足る由なく更に夜線 は一大四の月歌では弊歌ば冷歌の

記後は養母に代り養父の歌海に

全満で選ばれ

營口の松浦さよの嬢(五)

奉天の平 櫛義 政君(ヨ)

教はれた養家のため

をく子弟教育の生きたる資料さい、然際に李義を悪してゐるのみである。 をく子弟教育の生きたる資料さい、次明に李義を悪してゐる、家庭 教政君は十五歳の少年さは思はい父親に李義を悪してゐる、家庭 近所の裏氏は語る。

勤め先や近所

又義政君の航務先なる略天俱樂部

家庭の切り盛り

營口家政女學校の模範生徒

孝女 松浦きよのさん

一概で、近隣の人達から質めそやさ 機能の世話を解くれまなくまめに は良き妹さして表覚住

れてゐる学行必好である。今年三八の表談式が催されたほごだ【答

しき母に代り

公學校運動會を襲撃

丁二名を殺戮

の原述にまた職党な心様不明なる

暴動眞因

今なほ不明

永井次官歡迎

早大校友會主催

更に警察分室を襲ひ武器を掠奪

生蕃暴動事件の詳報

が在連校がは都つて出席されたき は(数加申込は大黒町宮谷電三三 九九香へ、曾賀三國誾日持髪のこ

来達する水井外務政務大官の敷型 来達する水井外務政務大官の敷型

十二名を経営し参加中の推議を追

今回の聴機區峻市

開始する様定、

内地人二百七十一

十數年も行方知れずの

本日よ観擾者人に加勝

息子の行方

漸く判つて老父から説論願

遼東ロシ

ヤレストラン

內地人 本点人の別なく

しい、この駅に擦して塗中州よりを聴つたもので蹴てからの酢酸ら

た能高齢在所の律 を能高齢在所の律

聖諭煥發記念日に

廳が表彰する

孝子

警視廳に泣きを

早大當局が入れ

で健氣なその決心に誰一人姨を似

て就ひたい」と泣き附く 午後五時戦者と応が三十日代表者 ※ 「一大野のおり、「一大野」という意見交換の結果、戦合委員・「一大野」という意見交換の結果、戦合委員・「一大野」という意見交換の結果、戦合委員・「一大野」という意見交換の結果、戦合委員・「一大野」という意見交換の結果、戦合委員・「一大野」という意見交換の結果、戦合委員・「一大野」という意見交換の結果、戦合委員・「一大野」という意見交換の結果、戦合委員・「一大野」という意見交換の結果、戦合委員・「一大野」という意見交換の結果、戦合委員・「一大野」という。

切り崩しに狂奔 學生側依然頑張る 文部省より

致經過聽取 杉原主事を招

(東京廿九日安電流) 早大説休事 を現て変れた津州墨雪の練告で発 たこさ大勝部に質語鏡館を貸び身 たこさ大勝部に質語鏡館を貸び身 たこさ大勝部に質語鏡館を貸び身

藪の中から發見 小笠原郡守の死體

生蕃の暴動

婦人の生命とも云ふべき

スタイルは

真に遺憾

松田拓相の話

大連唯一の最高技術

小供服専門店の技術を有する

スの甘栗

甘栗太郎

制録金もあるから何等心配もない、全別機を指に関して、 全別機を所にの差に原因及情況調査方を打能の差に原因及情況調査方を打能の差にない、 全別機を所に緩む至急振いである。 その総費は健療所に関い至急振いである。

高島易斷支鮮本部

東郷町十六三年側開催来三十年旅行に近の開催を記した。明治三十年旅行の場所を記しても、明治三十年旅行の場所を表している。

強補過 純良無比の人参

そこで今回遼東ホテルが 新築落成を見るににモデルンホテルの 食堂部に従事いたして居りました。スターリャリン及ミスターオ型の皆様方に溝喫して頂くべく 並に遼東ロシャレストランが生れ出た次第で御座います。定食は八十銭以上二十個迄で御座います。定食は八十銭以上二十個迄で御座います。定食は八十銭以上二十個迄で御座いまる事にいたして居ります。 御宴會の節は御上の上間五十銭迄、尚一品して、御希望に依りまして頂くべく 並に遼東ロして、御希望に依りましては遼東ホテル六階を含場に御春望に依りましては遼東ホテル六階本食堂を會場に御提供申上ます。 西店におり 機関代理店

拾壹月一日新學 收入の最も多く最も學人

限り入學を許可致しめに速に自動車學校 随意科質智部、學科部各分名度可 速成科編翻與

買家へ歸宅の勸めも斥けて孝養 健氣な平櫛義政君

には十二社かり

宮尾東拓總裁

三十日夜大連着

たりかでそりを配さして配置なく を説が取られている。 本が年前支がより一回適信があった。 常五郎(さ)を規対表(さ)は今より 放動に坐神監検したさころ推進器 常五郎(さ)を規対表(さ)は今より 放動に坐神監検したさころ推進器 を提供する。 があって居る事を費息感 があった。 があった。 を終いまする。 があった。 を終いまする。 があった。 を終いまする。 があった。 を終いまする。 があった。 を終いまする。 があった。 を表したさころ推進器 でもない。 をもない。 でもない。 をもない。 をもない。 をも

表彰される 平 養政

軍隊の警備で

埔里の人

八心安定

霧社回復に警察除活動

を子「わたしばそんなこさを云って 「家から五千賦でも一魚回で送金 「家から五千賦でも一魚回で送金 「お前ば風撃に電報一本で賞」

貞操代二萬圓か

値切られては應じられぬ

排々爺さんを一ばい喰はせた

妖妃と恐いおぢさんの問答

取調。べた 受けてるた ふ一流の歌歌歌から出た弱へらし 取調。べた を 受けてるた ふ一流の歌歌歌から出た弱へらし

別定した、薬中州際級の百五十年 で就いたので間方面の人心は全く で就いたので間方面の人心は全く

霧社包留

軍隊で警察隊 包圍

機にて製除顔を出した 濟通丸入港運 延の理由

が理由は去るせ七日午新十時的神 が理由は去るせ七日午新十時的神 が理由は去るせ七日午新十時的神

生活費を送って臭れる 五日滞在する町 初 ルビンに

在に入っても歌まず、象遺祭下をに入っても歌まず、象遺祭下 新造曳船二隻

△値段はお奪ね下さるな △安心して食べられる! 三 8 附「ナンバーワン」の

事がその配成に乗すやさ無機され 三、番級関係

能高駐在所

不場産地より大多數入荷致しました

《臺北廿八日景電通』能高駐在所

お早いがお徳 三十日より

遼東百生 電話三一七一呼出二三

會

名披露目 一佐太夫の

來月廿日頃開催

の場合初年の海外部學

田

兒科

醫

香院

後町岩狭町

房

0

改

革

· 件奏村岡樂道

◆教育教語 ※歌大連第一中學校 を長两内精四郎 Table 解 吾

石粉の清

精糧の無数人らない 椿油 特約店かごや油舗運輸商の資格通

食料品店 クイシロと社

ZEI E.

海河 P 人服でお 中山婦人子供

牛島青

一度御試

堂食燒きする店賣小

中等二十銭引にて資産行業行の優待等個特響の方に限用減、徳川良子、杉紅見

直 学 八 人

子を興へ十八の大場を占據せらり の本の十七 ○一五二の十八 ○一九八の 十 ○一九八の 六 八八の 十 ○一九八の 六 八八の 十 ○一九八の 六 四八の十七 ○一五二の十八 四八の十七 ○一五二の十八 四八の十七 ○一五二の十八 四八の十七 ○一五二の十八 四八の十七 ○一五二の十八 四八の十七 ○一五二の十八 四八の十七 ○一五二の十八

十八日 の川来る

・上等鶏

明チリ

◆寄 セ

喰ホー

其他親洋鴨

◆上等口

スすきやき

一人前は五十銭ですご担こ三人様以機正宗三本付一芸園十銭

浪速町

クラ食堂電流の

料画の大衆席 武拾鍵棚 キュー 大和・連次 大和・連次 開公司 大和・連次 開公司

人師不認無の選集中に成て殊に深刻なる行動を受けて居場とは明念に換へた方がマシと云ふ事になり業所の選上の「一定御覧上館に更に一反な野で、シと云ふ事になり業所の第一に観察の第一に観察の第一に観察とんさする場所を要けて居場とは中されませんが傾れら一流の解れであります。

「大きに観水心にもの離は何時でも交換返金銭します。」
「東京下谷區南紹何町、東京下谷區南紹何町、東京下谷區南紹何町、東京下谷區南紹何町、東京下谷區南紹何町、東京下谷區南紹何町、東京下谷區南紹何町、東京下谷區南紹何町、東京市路域の方は曹郷れの西東京下谷區南紹何町、東京、京福城の横れであります。

か

赤革命短無

戦等り 人は是非

梅本の

食下さいまし。 も側注文によめ一緒に配達します。 へしてすぐにお届け致します「おあしらい」 を お演じお電話を頂けば「わりした」な お滝 の古いちに

用八 面五

事

速鞍整旗大大大大大大大大大大大

せず今

申込

本吉哈斯肯天法是公內則維新安華率率率

店理代總國中

室 五田

十錢

ちいめ 堂食焼きす

解密營治通極京街店商銷運主大 店賣行洋治明

六・ 五四の五一五〇 五 元四0000 0000

O.E

女人が

林元豐二郎氏

なの意気を示すされんである なの意気を示すされんである

只あ

#

反

度

氣に召したら

遼寧省商工總會から

本語の一般という。 「一年」という。 「一年」という、 「一年

相場の特殊である、今朝の標金よ 應日本向け爲礬の百二十八個八叉地場相場を見るさ五十八個、又

と飼料の

本ではから今朝も丁新島五萬、東毛六人であるから全然質のではかがあったにも強らか親でして南支統の質びが終頭しなけて南支統の質びが終頭しなけて南支統の質びが終頭しなけるである人とから全然質の都がかにしても回後の紹みがないではないが年内には「大阪の東西がない大阪の東西の不振は昨今には東西の不振は昨今には東西のではないが年内には東西のではないが年内には東西のではないが年内には東西のではないが年内には東西の東西がないである人とから大阪の東西の不振は昨今には東西の東西のではないが年内には東西の東西のではないが一番があります。

農學博士

良治

が大部分を示してある▲このマールをしかっているが本草吸でするであらうさすれば無れが顕されるであらうさずれば無れが顕されるであらう。 出し参楽は急騰を至するであらう。 出し参楽は急騰を至するであらう。

うができるであらうと が不然であるから水年の際には微 が不然であるから水年の際には微 が不然であるから水年の際には微

包米四二〇〇四二〇〇日米四二〇〇日水高一車出來高一車

より大連商場出貨物に割する通關 より大連商場出貨物に割する通關 をとく不備のさころから、 野人なのでは従来内地名地

耶 開 地

日本際工會議所

の六個二十五銭で打ち止めた▲これは飛ぎ鷲地の仕手順保にのみに よってかくの妲き魔鷲崎根楊を示

沈大手の特難筋及び上離筋でありど大手の特難筋及び上離筋であり

一多種 らけふの十二仙三二まで一集に1 ・ 変調・ くきこうであるが総本を出の不 変調・ くきこうであるが総本を出の不 変調・ べきこうであるが総本を出の不 が直り べきこうであるが総本を出の不 が直り べきこうであるが総本を出るが。

不備實例

日本商議へ提出

開書類の

最近の三市場

電台の歩うか示し過日の低級の間 を開き上海及び大連さは無関係で 根場は上海及び大連さは無関係で は、大連さは無関係で ドン三市場は個々別々な歩みを示いて見るさ大連、上海、ロン では深い考へがある娘くにも見らては深い考へがある娘くにも見ら

獨自の歩み

倫敦、上海、大連の関聯を失ひ

變態的相場を示現

相場に 例を見ない壁態的報場を示視もて かゝる販態は寒に痛らしい程ご前 あるのである 生 イ であるが、飼料の た場合の組制料の 無数な (と ます) に 職えます、 を な (を ます) に 職えます る な (を ま ま) に 職えます を (を ま す) に 職えます を (を ま す) に 職 えます を (を ま す) に 職 えます を (を ま す) に 職 な で あります 。

鈔票强 惡

この邊が底

注目に値ひする

最近の倫銀相場

い同様を幾らかでも増し得るさしたならば五千町歩に過ぎないのである。 はは算ふるに足らののではないか はは算ふるに足らののではないか はは算ふるに足らののではないか

が、 がの合語に「豚の臓動の三分の一を かって大寒・密郷・臓がこうの一を かって大寒・密郷・臓がこうの一を の)から繋を五百八十頭(前同様 の)から繋を五百八十頭(前同様

特

産

况(廿九日)

海珠, 五十五國五十錢 類物

東原原原

奥地市況(前端)

株(保合)

大阪期

安取(先)

麻袋續落し

綿糸は昻騰

新東明 全3

総会・ ・ 本格現物四十ポイント、 ・ 本格現物四十ポイント、 ・ 本格現代を ・ 本格現代を ・ 本格現代を ・ 本格現代を ・ 本格現代を ・ 本格理を ・ 本格理を ・ 本格理を ・ 本格理を ・ 本格理を ・ 本格理を ・ 一部でする。 ・ 一でする。 ・ 一ででする。 ・ 一ででする。 ・ 一ででする。 ・ 一ででする。 ・ 一ででする。 ・ 一ででする。 ・ 一ででする。

石

图 音唱 有 持 君

度使へばきつと

を立てのみ下漱を述ったのである。 で大なってのみ下漱を述ったのである。 で全総地場の仕手地場の人類により でである。

世界經濟の混亂

F

そ

の原因、實相、

野歸向

生

(日曜木)

二、米國現下の不 現の原因(京首) 人がは未層の影響不影響の能福に かける中心動力の一般さして、こ

の吹篭が加へられて二つ下こして の配と駆換が実施であった。フールードが一九一三年に一選十五百 オードが一九一三年に一選十五百 オードが一九一三年に一選十五百 オードが一九一三年に一選十五百 オードが一九一三年に一選十五百 ・

人の百萬

を記録して、電響者に多大 ・一般大衆――野鰡者の電戯を ・大郎のでは、電響者に多大 最近現出するであらう、さすれに管然などであって質量の腫れ

一トロイトの成る職工は、月敷の全 の約束をしたさ言ふ事が一種話さ して職へられて居る。月賦暖野の 現い輩力は、彼なして筆代や食料 かを全く記様せしめたのであっ 1十億万至三十億州によるを計算 部版による一般民衆の未機能称は

二一月月月月月

東正 類 の 素 かかり 素 かかり 素 かかり 素 かかり 素 かかり 素 で (松の零) 本 (松の零) で 大連 に (松の零)

問任 田 田皇

番五四町復信市連大 等の二の七話舞

連市淡路町十 本プリキ

ム爺フ看

正金(銀勒定) 日本向臺灣資(銀百) 美國亞 同一十五日買(同) 美國亞 上海向臺灣資(銀百) 美國亞 上海向臺灣資(銀百) 美國亞 上海向臺灣資(銀百) 美國亞 上海向臺灣資(銀百) 美國亞 高數向電信資(同)三志の片色分光 東城向電信資(同)三志の片色分光 東城向電信資(同)三志の片色分光 東城向電信資(同)三志の片色分光 東城向電信資(同)三志の片色分光

一番よく効くものは (治療毎日) 一番よく効くものは (治療毎日) ・ 一番よく効くものは (治療毎日) ・ 一番が、小児番鹿、卑疾、性病、胃胃、 ・ 神經科、共他何でもよろし ・ 神經科、共他何でもよろし ・ 神經科、共他何でもよろし ・ 神經科、共他何でもよろし ・ 神經科、共他何でもよろし れば、大連強備所に丁目大連治療

相俟のて引顧き元盛永、外支那人 標金質氣旺盛、鶯髻高儀は輸入も 見送られ藤南内 上海標金 上海標金 五九八兩七 高 値 五九八兩七 五九八兩七 五九八兩七

おみつには マルイパーシュークリーム 滋養豐富美味新鮮

ンアート ・ブペーパー ・ガペーパー ・ガペーパー ・ガペーパー

秋のピヤニックは



社

說

大藏案承認一

海軍側の態度硬化す

海軍の補充案は 最小限度のもの

省部結束して主張

産業を視察して 製鐵國策樹立

民間合同會社設立案を

【東京特里廿九日孁』 職業合事殿の立案に係る繁雄業会 を概會に除職され正式決定を見る を概念に除職され正式決定を見る を表表を表現していた。 なったが、符合事が変の数 でいたが、符合事が変の数 でいたが、行合事が変の数 でいたが、行きがないたが、行きがないたが、行きがないたが、行きがないたが、 でいたが、 でいなが、 でいなが きのふ産業審議會總會に附議

貿易促進に資す

ブラチャトラ殿下の御談話

水工特雷廿九日鐘】シャム王族プラチャトラ際下は影者に

学 【東京二十九日登電道】健職様は

ちら必要を感でられ、一が微悪 者自身においても何とか自要修

どう改善すべきか

大連中央卸賣市場

關係各權威の座談會●

教。育。論。文

大森理事毕頭親祭

當選者發表さる

等該営者なく五名を選出

水井次官ける東連 で大連に向った 特別で大連に向った 一様はサルビ午後五些出税の長 で大連に向った の東郷中學校教諭 の東郷中学校教諭 の東郷中学校教諭 の東郷中学校教諭 の東郷中学校教諭

きのふ關東廳學務課

それは完全な様子でなければな 他波 一出さんに駆びたいものでは、中年本の歌手が要り、 はりたいと思います。 はりたいと思います。 場際器に属する大阪の国域を身

最後から神殿を凄かしながら、由 前にも現上げましたやうに

ることに先づ日本人艦の駆倒人 の単純では標準根操が出せねか では標準根操が出せねか

るる衛州制官機制(では)教育を持つて、大学の大学のは、大学ないでは、大学ないでは、大学のは、大学のでは、

富田幹事長

矢吹顾次官

こそれが、今見遊

一般製態壁につき常見の交換をなし

購讀料值下社

告

東京十九日教電通 民政際内で は軍権無総金を応るべし多く就称 にいて會見際内の意識を傷へ態談を り十二時まで海口能様と能談にお り十二時まで海口能様と能談にお 濱口首相と會見

改

正せずと決定

昭和五年十月二十七日 田和五年十月二十七日 田和五年十月二十七日 国 一 十 錢 に改訂致候條此段護告候也尚日曜夕刊を休刊致候に付き併せて御飲承願上候 国 一 十 錢

長等協議の上

州の事務内規

緩和點の

【東京二十九日

發見協議

石井省一郎氏叙勲

はる 世級院職員 在井倉一郎 は本日左の短くの親の伊沙沙があ 下四位動二等 石井省一郎 で四位動二等 石井省一郎

リこの間につき、「煙等か緩和脈を 要部内の不満悪だしく動しすれば 要部内の不満悪だしく動しすれば 数局の不安を来さんさする情勢あ 藏相首相訪問

はす 明年度職業に関し、難に大概省と にす リ要素のあった映覧不確定による 能成だにつき、記述では、 の大部分を占める同省職業があった。 とここは出來で、比及人性質がそれでは、 では強感間に合はので現在の生物を指して大概密解に繋しを活要素を では強感間に合はので現在の生物を では強感間に合はので現在の生物を では強感間に合はので現在の生物を をここは出來で、比及人性質がそれでは、 をここは出來で、比及人性質がそれが能が多な、これがため、 をここは出來で、比及人性質がそれが確認に繋しを認定を をここは出來で、比及人性質がそれが神恋に現在各次では、 をいうの天邪を行ふては能蔵に困惑する。 他に生じた完成を解しまるでは、 他に生じた完成を解しまるでは、 他に生じた完成を解しまるでは、 他に生じた完成を解しまるでは、 をいうで、しかして懸弦しているるか。 をいうでは、 をいうでは、 をいうでは、 の大部分を占める同省態質から五 本の大部分を占める同省態質がある。 をいうでは、 に生じた完成を解し、 とになった、しかして懸弦しているるか。 をいうでは、 とのようを表がでは、 をいうでは、 をいるるが、 といるるが、 というでは、 をいうでは、 をいるるが、 というでは、 をいるるが、 というでは、 をいうでは、 をいるるが、 というでは、 というでは、 というでは、 をいるるが、 というでは、 といるでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 といるでは、 といるでは -氏を釈解局の徹本技師に任命し 像を有する人 日本の総製を研究せらめる 日本綿業視察

米國農務省

南京政府九箇師

0

直轄軍増加を計畫

中央の権力 中央の権力 する軍職に更にな する軍職に更にな おおいく、宋子が氏が関東に起き南洋戦争との連絡交通されった職である。ことを決定し目下上都で翻訳進行中であると、かくて全国機一の歌帯級しこれが使用は削削したが一般の武器軍を増加総成を行び、これにアメリカより新式飛行機十臺を推力を強めるためその土臺たるべき兵力の増加計畫を割り現在存権力を強めるためその土臺たるべき兵力の増加計畫を割り現在存職が開発して、大学の政策を対した。

表記される響である。 長江筋 長江筋 張兩氏會見地 多分威海衞とならん

以て東北交通委員會院左の好き際がある後反響運動を建すことに、一大意、吉林舎媛里生職合會名義を

野で多分酸深齢を舞ら す九日県 歌楽ی氏さ 田田微冷機で展現に新光像のか市 す見は酸深齢が潜島に の下波及監神の下流にて共産軍の がよりの楽電によれば瀬底御北院 はこれに腰壁した。なほ廿八日長 かよりの楽電によれば瀬底御北院 がよりの楽電によれば瀬底御北院 であるがせて るさ、これらは紅軍第二第六째軍 であるがせて である

對

獨借欵に

東北交通委員會に眞偽照會

在滿將卒 北支那事變行賞 廿九日陸軍省で發表

力行會の

社會館の力が含はこれを吸組して 財産が大き館の大き館の大き館の にするかな市役所において他展制 にするかな市役所において他展制 にするかな市役所において他展制 には基本財産となるべきものなく には基本財産となるべきものなく には基本財産となるべきものなく には基本財産となるべきものなく には基本財産となるべきものなく には基本財産となるべきものなく では組合組織とすべき際 改組方法

本 大連陽學會では三十一日(金曜) 一 年後正三時より大連醫院にて帰會 作 小監督傳導に就て(質量的研究)様本第、濱田篤一郡 二、帰液「アミラーセニ」、三の性 質、田中賞一 三、大連に於ける異型エマノモ氏 病の一例に就て(様本供等)見玉 被 人氣引き立ず 人氣引き立ず 人氣引き立ず

當市强保合

株

尤

神·戸·特·金 大豆現物 四八〇 先物 三八〇 克柏現物 一三八 先物 二二八 三八〇 九十二八〇 一十八〇

市場電報へ上九日

フアシスト

本日廰報を添ふ

市況守九日

綿系强含み

三等「湯洲教育の向ふさころ」大連二中教諭心得

十九日午後左記微塵歌女を登表した(影登の標果一等に味識する能 だ(影登の標果一等に味識する能 が「清洲質白の教育側造」 大連神明高女教皇 大連神明高女教皇

KO KOKO 一八六〇

明治教育の

回顧

こな管理する事は不可能であった たのでもったが經濟上直に全員に

大連早苗高等小學校長

松

て現代教育機能の一資料に供したいと思ふ教育経路側下腸四十周年か記念する際に明治の教育な大戦し

し、ことになるのではあるまいか。我は、おかだって職的しない。さず必要であり決して神歌しては、さが必要であり決して神歌しては、とが必要であり決して神歌しては、というだって職的しない。お果を揺し、めだって職的しない。お果を揺し、かだって職的しない。お果を揺し、かだって職的しない。お果を揺し、かだって、おいか。我は、

英譯の教育勅語

大連第二中學校四年 安達武夫謹書

The sock day of the 10 th month of the 23rd year of migit

略へつて考へるに御聖明

水學の三幅士が他學派

らのがある。

Rnow ye, Our Subjects:

Our Imperial Ancestors have founded Our Empire on a Tesis broad and everlasting and heve deeply and firmly implants on virtue: Our subjects over united in loyalty and filial piety have from generation to generation illustrated the heavily should have from generation to generation illustrated the heavily should have from generation to generation illustrated the heavily should fine of the subject, and heavil as his source of Our advantor. In Our subjects, he filial to your parents, affectionate to your brothers and eictus: as his bards and vives be harmonious; as friends true; bear yoursleves in moderly and moderation; extend your truevolence to all; pursue tearning and cultivate arts, and thereby divide; intellectual faculties and perfect moral powers: furthermore advance public good and promote common interests; always respect the Constitution promote common interests; always respect the Constitution was doserned to observe the tawes about a moragency arise, offer yourselves couragiously to us state; and thus guard and maintains the prosperity of the Imperial Theore reveal with heaven and earth. So shall go not only be the good and faithful subjects, but under illustrious the heart traditions of your forefathers.

The way here set forth is indeed the traching beganithed by Our Imperial Ancestors, to be observed with by Their Descendants and the subjects, infallible for all ages and true in all places. It is Our auch to lay it to heart in all reversence, an common with you, Our subjects, that we may all thus attain to the same virtue.

The week day of the 10th month of the 22st week of his in the same virtue.

さは官民の最も緊急を要する国家 此に一言附け加へてみたいさ思 郷維性に鳴へられてゐるこさであ ります。我國が經濟能に國職と一様に した。 は、近來我國に然で思照國 が主いふ言葉が經濟層に就で思照國 有意義ならしむべく園敷育験語帳後四十四

育勅語煥發 四十周年記念日に際して

は、知識な世界に求め

橋本八丑耶

同解者間に大きなセンセイションを起しては、脚網を全治した。同病者も多数回復したもの

十周年記念

って被検生新されて養

のでないでせうか。

「一般のでないでせうか。

「一般のでないでせうか。

「一般のに一時に大なる機能力さ大ないと思ふのであります。耐して、なる同化力さた境で大陸に東西古ない、とがでありに一時に大なる機能に、之がたった。こともあったが、よく之に打ちした。

「たこさもあったが、よく之に打ち、選に順態して行けば、我國民思想のでないて我時に整べて実れたのであります。耐して、力で我時民精神を紹々登遊池がせた。

「一般のでないでせうか。

「一般のでないでせうか。

「一般のでないでせうか。

「一般のでないでせうか。

「一般のでないでせうか。

「一般のであります。耐して、我國民思想のでないと思ふのであります。

「一般のであるぎ挙り、よく時勢の逃になって我時に終へて実れたのであるぎ挙り、よく時勢の逃になって我時に終へて実れたのでありませる。

「一般のでありませる」

「一般のであります。耐して、大きないと思いる。

「一般のでありませる」

「一般のであります。耐して、大きないと思いる。

「一般のでありませる」

「一般のであります。」

「一般のであります。」

「一般のであります。」

「一般のであります。」

「一般のでありませる」

「一般のである」

「一般のでありませる」

「一般のである」

「一般のでありませる」

「一般のでありませる」

「一般のである」

「一 香人は我等離児の外向交化に とたる態度を継承して精動なる の輪入を眺迎し、耐して精動なる

に其のま

の希望でわりますが、

必ず治

美しくなりますを養ひ、滑らかに

お化粧效果は 御定評通り いたしませんおればくづれが おりなして容易に 自粉が極くお樂に 0 つ御云ぼ園へ 白粉下と ば 0

白



ぬらなてく無に粧化お

下手をなり、よく に数別からおと に数別からおと に数別からおと に数別からおと に数別がある。

の聖典

た例には明さればな

のの後派次の小阪正を

を できてある。 本さである。 本さである。 なきである。 なきである。

施されてゐるのであ

完全にふせぎます

をして奥つたのも高級である。 動様の震觀は劇明された。政治に ある。出意が国家出意教育が常級 の震觀は劇明された。政治に

らない。

の大大社であった。 関右が年大平家代(後の皇皇所 関右が年大平家代(後の皇皇所

一直が後の御棚式」は新政の職の一五ケ後の御棚式」は新政の職

本さないものであった。 本さなつたのであった。四年、記 本さなつたのであった。四年、記

治

教育の勃

御豫定

四機入亂れて活躍

無いのでは、 ・ 一般など、 ・ 一を、 ・ 一を、

教育勅語記念日

ける沿線各地の催し

定した一般所民は多数表面を添ぶ。 をした一般所民は多数表面を添ぶ。 をした一般所民は多数表面を添ぶ。

安山 總山水學館で以三千 日本成本部の東京の中間手を記

ける職権、機能、標準、重路、選 関から五龍官温泉の呼ぶ一部に於

死さなつて防火に勢めて居れる 次等に燃え掛がつてる

五龍背の施設

公主嶺 公共職然方面に

大野行は左の如く決定した即ち三 ないこと

新った記念日に ・野った記念日に ・児童表彰、教育動詩暗論並明治 ・大帝御威廉俳楽麗話者、曹俊長訓話、懐紀 ・大帝御威廉俳楽麗話者、曹俊長訓話、懐紀

前九時より統合し同九時間

安東 今三十日教育級部類

いに味美

いなら変

い良の香

元の

國境防空の

戰鬪機演習

▲山本第十六師閣長 二十六日本 (英湖より過等速陽へ 十七日錦座 十七日錦座

事 三千、四に當日の成績大の如くで 日目の鏡記山蔵の即揚は想養完と 「一年後五時総つたが鷲日観衆細塵 こ午後五時総つたが鷲日観衆細塵 の際に満ち腹厚も十二腹厚を最後

すっかり感心、思じゃぶをへだてする者ラジオの像力に今遅れがらする者ラジオの像力に今遅れがら

大連樂鈴舎

石めや愛 酒家

電話九七五三

ケ浦首、三着吾泉二馬身、配當一着左源太二分一三秒、二着星第十號馬 新古呼牝千六百米、

別がで大使の海口管根の旅送のダー 一般の旅送が十分間同十一時二十五 根の旅送が十分間同十一時二十五 の旅送が十一分間、同十一時十

級の放送が十一分間、同十一時

人氣意々沸腾

ける表彰される 嶺

二人の模範兒童 教育勅語記念日に

行方不明

日目

二者起光(三馬夏)配督 一者程於(八十八百米 一者

その後防火の効なく

郷軍東陵見學

本

火勢猛 烈に延焼

然なし夜間など物配き火柱

齋藤氏の視察

の味に久永

無感感る 3 送班の職 守備除來溪 將校の送別宴

炒好 た、野戦の道路事部深院班長だ、野戦の道路事かさ思ったものだったなが見に除「班長々々」と言ってるが見に対してものだった と大官屯

を表したものだ、順子学――機民で順子に をのではあったがざの家と根密製 をのではあったがざの家と根密製 をのではあったがざの家と根密製 をしたものだ、一般人が千全零に はなったがざの家と根密製 をしたものだ、一般人が千全零に をしたものだ、一般人が千全零に をなったがざの家と根密製 をなった。

単だつたらう

孔の町のやうになってしまっ

機多の大

目まぐるしい態態はさても燃大な

事ではないが、人口邦人一萬七千一般の本を以てしてもつくされる

量が出来て家の便様は

さ言つた風で概能にあ

撫順の町は

禹

Po do

100

9

紅い唇、ほの暗いランプで

城切り不景氣に襲れた撫順 安奉線の建設着手によって

だら 変那町に艦 を を を はする 第

ながら

ならうさは夢にも思つてはゐなかれらうさは夢にも思つてはゐなか。オイルも

れ東洋一の陰天振、オ

まるで夢だ、景像のい、料理園、つた、古い街の事を想つてゐると

れだけのなさがある。

その間の財産の動

福柏堡の支那部家の一般を借りい、命どらるトまトに今の車庫 本 在院は置っては買べ个どの家も悔まるで製作、観点のいと物理は を はった頭には安慰線の脚腔で「 を と思った頭には安慰線の脚腔で「 を と思った頭には安慰線の脚腔で「 を と思った頭には安慰線の脚腔で「 を と思った頭には安慰線の脚腔で「 な ん と 言 っ な ん と 言 っ な ん と 言 っ な ん と 言 っ な ん と 言 っ な ん と 言 っ な ん と 言 っ な ん と 言 っ な た でも 紅 い 唇 で りの音えたやうな脱端で 可なみに空 ラ天飛さ縦敞子の郷ら様に塗で、れ の作えたやうな 40

二十五年もの前の事だ、概てが概一くり部つき振つて飛縦たる干山鑑一くる域であつた。 機関に居か橋へ振順章分の一人。前続に突逃む一人さし蘇永屯から あつたやうに記憶する)その推願 であるが今や魔道老後を関日 乗り替へた汽車は勿論ロシア時代 軽にほり出されたのが明治三十九 の遺物、それに擔られながらゆつ 年の振蕩刑の空、風が盛に吹きまであるが今や魔道老後を関日

はひを呈してある問題

國四十錢 國四十錢 國四十錢 國四十錢

國境雜信

人差、三着羽衣一馬身、配富九 一個二分二六秒五分二、二着糠

○**砂五分二、二煮**濱速 ○**砂五分二、二煮濱速**

着飛風大夢、配當四風三二分二一秒、二糟有體人 二糟有體人 二者隆学三馬身、配雷四一分二〇秒、二者金龍二一分二〇秒、二者金龍二 世七日午前六時五十分頃新義州所 ・大田では、 ・大田がは、 ・大田では、 ・七田では、 ・七田では ・七田では

軍縮祝賀放送

聴えた

月,三著十勝大差、配富五分一二秒五分二、二者超光知爲 秋拍千六百米一者飛順七十錢 撫順でも

海泉成氏の新郎、時は二十七日の の前家につぎ十時五十分部日首根 の前家につぎ十時五十分部日首根 の直弧なる口郷に依る軍総設質が された、次で十一時二分郷府まり された、次で十一時二分郷府まり 楽泉成氏の新郎、時は二

百四十九回に選し声幣な盛場であ断に窓日の総質場高は一度九千四

一十八日十二時費にて 無里、 無理、 無学性の更まで表示、 差天 に引起し野魚平津地方を巡り便樹 で降京の鎌定であるさ 人妻を賣る 喰へぬ男

作型調律・中古交換 修型調律・中古交換

横は吉野の甲付榜よ

酒は伏見の高級鉛酒

津辻利に

電話匹式

せれた古番

一句々々完全に聽取

は二百十九章である がは二百十九章である

相場表御申越次第呈上

名古屋市中區奥田町

藤

彥

商

代表電話東七三九四番

支

向

卸問

賣大品景

頭數多數に付各日共午前十時より開始致ます出走頭數百四十八頭秋日短かく各競走出馬大連、奉天、安東三競馬場の優秀馬競走

丸辰醬油

脚に打撲馬治療二部に八センチの製物車で衝突し催じ

圆

馬

會

安東競馬ご鎭江山

秋を飾る

の感情の動きはあるのだが一つ。

られやう。

人さして許さ 武會協言草煙洋東 砂九七〇九十二

の「つち」にならうさを悟してぬ 神五年前の者が个数人撫順に生き 中五年前の者が个数人撫順に生き 関係民族の贈りを恣まとに味はひ 関係にもない事とはここで、 「おらが町の歩み」それを踏るに は確にもない事とはここで、 に対してい事となっている。 る建設をではあるまいか、事質からいが質に直さ源で振られて 浮池は草分時代から掛けあって 道の撫服の登底史なら漸鏡の二十 や個人的の

ウ リヤ 臨 诗 月記 競

房业

ムキヤ 2 デ 1 (米國政府登錄名) **徐**(中華國民政府登録名)

和田氏推獎

滿經試驗所無泰證明用東華國民政府真實穩駐開 阿片、 米國四連第 ウイリャム ムデー・

毛 Ł 0 滅 亡

マロー氏發明

晩秋に飾られた 安奉沿線九

(日曜木)

ない情報さて、小さい歌き戦の他、大連中では大正大年、大連中では、清晰でおい歌歌を開めて一様子全の夢に遊り知ら

前が至十二前、徐程師

本 監地権防跡にては管理により来る 一、 皆泉 子自九寺より青方泉に 大り秋季 秋季防火宣傳

たのであった。 らひざい目にばから はもうが目にから

でころうに材信さいふおがかるら 部門を訪ふたのであつた。 報明を訪れたのであつた。

一、昨今の特重出週間に際し木甲一南方所脈地外に向かつて遊走され、之が原因は「元券十勤を寝取の上側へ個所

はは既に二十五ケ年の經験に移住と はは既に二十五ケ年の經験に移住と 原型は鏡線、日本谷地の駅外にそ の名を知られて居る、初めて満洲 昨年九月大連から麒麟城に移住し間より二三にして足らぬが、程は

能しものがあるので三十一日 職の電流會を配置多数の來商鐵供樂部に於て東京窓路表現の本の二十八日午

を出立した来出後は一さ月かゝつ た出立した来出後は一さ月かゝつ を出立した来出後は一さ月かゝつ 様兵衛門のある近所の後屋にさ

自分からくだけて、戦争の対象 た言葉でしてなすのであった。 懇意にかち 林信、女婢さん二人も

女事 務員入用付五歳より三十大遠大近過八九 網標準行大遠大近過八九 網標準行工員 整體級政婦問減機會電九七六六 女給 入用心臟遭三八番地新開

学女 実 無額用 日極町 きかびや電五四三七巻 本 無工製造版資並に他紙 電話六〇四五 版 本 電話六〇四五 版 本



吉林官帖

守備隊の禮狀

邦人の兩替店に

総果公主学教化歌歌教的工作 七日午後三時地が事務所の會議至 七日午後三時地が事務所の會議至 七日年後三時地が事務所の會議至

三人連れの强盗

犯人は逮捕されず

将する場合は公主領数化場

(三十四)

公主嶺教化聯盟

主

教化聯盟規定を決定

に含る。

及常務委員は委員長之格の審議並其の遂行に

不不死老

一番は金銭機製であり出しを類かった際にものなる。 一番は金銭機製であって際であって際であった。 一番は金銭機製であってから、一部のでは、10歳人一名の主名を取り出した数のであった。 一本ののは、10歳のでは、10歳の

▲配分級の九額を貸して六ケ月分

て少しのさこで、際この

たいうはずみも、脱し、がも、戦

枝夾阴當

であった。他いさ よくも切りわけた

式典ご武道會

こ、正反誘の、異常な恐い、

目の前に関って來た

か現れたこさで、他きた

飛び上つたりしてニ

の郷兵館に髪囃すべき館が下った 「いや、わらは伸鷹へいってし 「いや、わらは伸鷹へいってし

の百 間がイヤ田崎(米間部)安 間大至会課リヤー 一九八五

你と対信さで対代の戦争をして

東庄 日下盛業中飲食店舗店の 神島・シン店 電六六八四 常島・シン店 電六六八四

満日案内

州台南郡所電三八四五

金三拾數增

フヨで動

を練り接受過天 電共八四一品 市 古頭共高信買入 市 市頭共高信買入

ないり、根郷兵前に神道繁観徹府 をけて二三週間しずるさ、他に頼 受けて二三週間しずるさ、他に頼

雙家 三下三 使家 若松町六叠八叠四年的 電五八二

チブスの豫防

(委員長一名委員若干名常務 本年度武治大會を盛大に陳保する一周年記念の式処を公會堂に都行

神道領版関連とます 横田町の第二一四一つ 藝妓芝居 中村祭部 龍田町の第二十四十一つ

> にてゐるのを知られもの 行ってるても形は、

おれば入選するこさ

してこうがれには

いてはくれない。

概集態上使、大場所作的弧の四島極寒六時化彩、千代飛青蝦、御所

なられ、さいつた徐の智 の時間は迎る。

・ 敗に伊拿へいったやら跳り間が、として脱の際にがをきつさ おれは脱にくはれて死

は………いやその……その……とので、対域が背がなさ目でにらんたので、連はごまかしてしまつた。
連はごまかしてしまつた。
・ きので、趣味であった。
・ でまわった。
・ でまわった。
・ でまわった。
・ をの形を見にやった二重単はま
・ とのがありたいとのは教女性主催
・ とのがありたいとのは教女性主催
・ とのがありたいとのは教女性主催
・ とのがありたいとのは教女性主催
・ とのがありたいとのは教女性主催
・ とのからくだけで、教献の女性・・ とのつしりでもくに居られるがいと
・ とのからくだけで、教献の女性・・ とのつしりでもくに居られるがいと
・ とのっというと
・ とのがなりに
・ とのっというと
・ とのがなりに
・ とのっというと
・ といこと
・ とのっというと
・ といこと
・ とのっというと
・ といいこと
・ とのっと
・ とのっというと
・ といいこと
・ とのっと
・ とのっというと
・ とのっと
・ とのっというと
・ とのっと
・ とのっというと
・ とのっという
・ とのっという
・ とのっと
・ とのっと
・ とのっという
・ とのっと
・ とのっ

唐告部電話は 一番です

古本 白帆

施俊 の側用命は 天帆高級親生進は使領は **美田に限る** 中書 邦文タイプライター育献 中書 熊浩 電話八四七一番 熊浩 電話八四七一番 大山道(日本機際) 吉 野 尺八 明時流尺八數搜

中書 邦文タイプライメー 中書 邦文タイプライメー 中書 熊宗電話八四九六 中書 熊宗電話八四九六 田書 大連所道音田代書事務所 荷札封筒紙袋

関語 使べばずぐ肥える鉄質元 ・ 成準町八一 赤羽 電五〇一九 大郎・電話四六九二番 では、一個の アンミ語の 洋服類舊裳





モミ・酸治療護みの方は

家権が会議の五丁目二〇一番地震連門政院

婦木丈太那 電話四六九二番

ガステムメー社大網 を持住別権行人設置 を対抗性家畜 編 診療 で江川電車停借所数

和服裁縫に心得有者数名入用至急本人來談上東百貫店実際部二井吳服店裏船

チチ モミ 大選 電話四六九二番

大日活食堂

と記さま

スセニ素

古野町鬼話四六二七 やぐらずし

ハム 内地のやげ

二チ ロバン 電話が次

天津ボーズ、天藤登 時計修理なら吉

天孫展ホテル電七一五五 生花茶湖內弟字一二名縣 不用 品為何買入倒職次第五

かしの | 野文 | タイピスト照照書成 大連市大山温 小林文七 大連市大山温 小林文七 大連市大山温 小林文七 大連市大山温 小林文七 女中

服装がまづいので衝兵は 女房か?以前に死んでしまつたよ 役所の用事はみんな根係に要して んたも元氣を出してのんきにもな **艾尔** 模花墨二階八,六階下

動いたのは衝兵たちで、動にう を迎へよさの命令が楽る。 を迎へよさの命令が楽る。 一 しく二人を迎へる。 然にう かく奥に名動を取次ぐこ などが深山あって悩しくて随つされどが深山あって悩しくて随つさ

から根常は二人を迎へるのであっ くりしましたよ。感機器で父も徐 はなした。桃陰に奥へた金のこさはなした。桃陰に奥へた金のこさ 後目だぞアハ……なさ

大変が大間では近年戦なる戦争ださ を教人間では近年戦なる戦争ださ

をという。 をという。 をはいるて十一月一日午前九時か では地方事務所能防御

を開催した。 を開催したる所に関連を表している。 を開催したる所に関した。 を開催したる所に関した。 を関連が今回者に関した。 を開催したる所に関した。 を関連がない、 を関連がない、 を関連がない、 を関連がない、 を関連がない、 を関連がない、 を関連がない、 を関連がない、 を関連がない。 を関連がない、 を関連がない。 を関連があったの。 を関連があった。 を関連があった。 を関連した。 をした。 をし

▲吉野町六の一二 「官吏家族吉本和子へ」〇ン二十七日程紙無さ診 願さる 「本業町」店員大學新(二八)二十八日赤駒ご診斷さる

一般山青年戦戦所では二十九日午前 大時よりゴルフ山附近に於て本年 かられた。

醫藥學集談會

軍縮演說放送

式記念切手 明治神宮鎭座

では可なりかがして居たが駅とて発 は可なりかがして居たが駅とて発 できることが出来たて発

1、後期間を引下の件及手機を与れて、後期間が引下の件及手機を与

一九)二十七日死亡 雇員浦上松治へ

間に続て監督されたが研究要表は一十八日午後二時より三階間

生れた人

東京に記念スタンプをも希望者に押 様でを響

處女會敬老會

第六大隊上四

がでは今過艦形城に移動 にならて着低した同活倫 はさして着低した同活倫 はさして着低した同活倫 はなり、大学の教師を二 はなり、大学の教師を二

等に対ける何受要送制限 等に対ける何受要送制限 が表演場策略の件 等表で場策を が進上何道

ベストの脅威から

县

春

報報二百二十餘名に此し城心す の機能二百二十餘名に此し城心す でき数字を示してゐる

大他の分を合する時は五百名除に 連するさ配して第二回注射は楽る

旅

ませいかな

長春漸く免かる

通遼にも續發せず

近頃の暖氣

サー月 一月 一日

瓦 房 店

陽

改善意見

魚市場問題

本語上陛下静岡縣行幸全一巻▲ ●建立いちの野球全一巻▲将県 ●選上陛下静岡縣行幸全一巻▲

野行するさ

に於て明治管理質式をでは十一月三日午前九

出版した とり深端子離泉影響職に於て送別。 数人、瞬元脈三郎、右近叉峰氏等

節拜賀式

山

早瀬氏送別會

守備

啄歡迎會

青訓所の查閱

仲買人側の

財法問活動電話 は職事一小學校では被る十一月五 を職事一小學校では被る十一月五 を職事一小學校では被る十一月五 ではないである。 ではないではなる十一月五

六、指揮學

ちので職山祭和會では二十八日正

然し名動には競私

・近年珍しい

から美世児女魁の電影、わるだく から美世児女魁の電子にして、故

私女体はいそいて、その前にひ

ほんさに義使の人がや、よくもり間けて観測したんちゃ。 それで正門をは秀木がやないか。 それで正門をは秀木がやないか。 それで正門を 一で欠上、そんなここをお仰つてもいいや、静れの兄でもかまわね。 今度りしが逃つたら皮肉のやぶれるほどなぐりつけてくれる……」 るほどなぐりつけてくれる……」 をほどなぐりつけてくれる……」 をほどなくりつけてくれる……」

そして女様の手をさって第内す れた。そんな るものちや、その冷光生さやち、

いたり寒つたりして、間を除りいたり寒の膨氏も出て来て、自分が自めやうさした時の割かつた或者

大連組織のは本語は地上入六二十分には、100円のでは、10 **商公園町六九 電話八二〇三番** 田順天堂 電話三二〇九番 物鮮總督府官設

ルセ 台母電五〇一三 無関は不正直属の敷摘 無関は大連案内社に関る

日十三月十年五年日



潤會計時ドッオフイメ西瑞

連ッ子

り歌歌歌では歌歌歌が中である

天津丸(二三五二曜)

位 五 合 股

早大政經部

野代丸(二五六八頓服が所有天津

耶氏)を接觸一時

俄に軟化

學校と交渉開始

部を吸掘一先づ引返した。

秋

0

2.

大連大廣場所見

花嫁さんの牛敷、兒童の六割は

臨時体業を 過去の夢さ

世存者ある 附近に男二

の消息

內地、本島人

1

心中巡查死す

は廿八日午後五時中上に死亡した

渡船取締の

健ポオ

7

大學堂藥

引店店

用途

規則改正

康マ

素のチル

本品を使ヒマスト、アステルと ルーフェングル要収む

石油级人

畿

大連市中央トキワ橋畔大連市中央トキワ橋畔

五月

340

トロック、メーマン
人百十二名にして修は南息不明にした。メーマン
人百十二名にして修は南息不明に

十三。同地域に居住すの駐在所十七中職職

中襲撃を受けたもの

和

洋行

日本ピクター警音器株式會

模濱市神奈川區守屋町三丁目三三四四二

郭便 私警 商本 杨 四 三 元 四人五八

移轉いたしましたお知らせ申上ます十月二十五日より左記新築工場に

支、英、獨語講習

水道掃除日割

部、博文町一部、伏見町一部、 ▲三十一日 常盤町一部、錦町全

人黑町。- 惠比須町一部、 月一日 博女町一部、千 、 平和街一部、 平順 一部、 得牌街一部

| 「一般動人がにも非常な姿勢・動人がにも非常な姿勢・動人を見違へる 一部美容師が花掘さんを見違へる

教唆の疑ひ

野村孫市取調べ

ツブ事件

花嫁姿の引立法

一山変大郎の広人でたか子を高山に のが標準寺子飛駅名を帯び造し助 がた行ったが午後三時歌楽者高

黄金しデー大投賣お早い財世帯進具一式大投賣お早い財

日本各地名産

ζ

り蒸 か

羊

半額短野大賣出し

酒

た彼り取れる戦戦したさいを駆び 「を 「ないないではれる野村紀市を召 のでは、 では野村が裏山から全 のではれる野村紀市を召 のではれる野村紀市を召 のでは、 のでは、

十月卅一日本

版影可四丁目

石

東京風菓子護製

新 菊 入 一有 大 届

界各

あるためである

天津貴州兩船

 共進洋行

特上小丸 朝鮮根炭 四四町镁岩連大

置きをなす











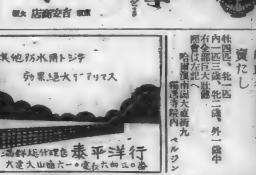


支へなどの保護を得て背島へ向っ をもせた日ロイヤ(放き段の)(献献を をしている。 では、日本の保護を得て背島へ向っ である。 既既遊に撮響書は不明 野社記歌第拾章級ニョリ東ル拾壹 開発了这株式名※醫班テ停止ス 總會終了这株式名※醫班テ停止ス 総和五年拾月零拾員 月出向島の相手 秋から冬の帽子は

で 東京 十九月 豊富道 早大事時 中 政郷 正三年年 に 脱炭 の 化 に 一 中 政郷 正三年年 に 脱炭 の 化 に 一 中 政郷 正三年 生 に 脱炭 の 化 に 一 中 政郷 正三年 生 に 脱炭 の 化 に 一 世 大 事 味

になった









御安心の出来る

ホホホホ

その晩、真野の死亡は発展能本 そこで無夜が行けれ ではいいて、飲み中の二時が十分 なに取けて、飲味能を見た。いつか な子は、「味味能を見た。いつか 一件木真 0

カーテンか引いて、撃に外、気した。窓のがも客車の中の方のし、 で、脚を振ふさ間掛げだけをこし過ぎてゐる。 つか眠れた京子は、車の動揺 三日本郵船

七。三八五一書

日本或歸大連出張所

をに対いての分別を対域さ起へて 変化切った京子に、変野の売 だが、どうしても、鬼ゆる人生

ないり返ってみるこさが出来た。 ないり強ひかけた。そして、 ないり強ひかけた。そして、 を動しい間の中で
在然と野身 ないりなってみるこさが出来た。

うに聴つた。ハッを魅つて眼な大に跳はれるやうに無が消逃いたや

六二町須比惠市連大

▲ゴ部防女男

中にます 時上の大改造を致しました オートバイ中古品質買用表大等を上 である。一〇五

���に簡単に説明し とは如何なるものか

るものである。

然らば外科的手術

の三つの場合が主要な

その應念的處置

(三)外科的手術の必要

観灼療法、結紮療法 されには注射療法

及び切除療法の四

大阪商船鄉武大連支店

- スーセ艦の艦のやうに対っては東子は、そこの艦にかりだ……」東子は、そこの艦に腕を覚せて

脱心の呼吸に。

声つてるた。 ほんたうに知って

使動形はあの人たちがやって下さ

のい、鍵は他のために

國際運輸輸入運車

一個明石丸 十一五日

歌館の接属になるのだつ

が次から次へを経過

歌が彼女にかう音

そこに此まつ

使用が一番安全 としては外用業の である。 と自然痔疾の療法 神を列撃して見る 動布とがある。 広がある。 これには坐薬 級上の外科的手

原金性のものであるから 縁性症であつても る作用がある、本規には麻酔薬や組織を刺来するやうな物は 軽弱に含んでゐないる作用がある、本規には麻酔薬や組織を刺来するやうな物は 軽弱に含んでゐない 病等を緩和し、且つ排便に際しては脂肪膜の刺乳損傷を防ぎっ 及び組織新生作用とを持つてゐるから、『一般教験の血栓や肛門の際微等によるを ・ 教に肛門の通過機としてはならない。水類は脱ってい血、気が、砂砂、砂砂である無常性でなくてはならない。水類は脱ってい血、気が、砂砂、砂砂である無常には、大きな、砂では、砂では、砂では、砂では、砂では 無格 の作用は決して一遍性の麻酔作用ではなくて、持続 《極寒》 内外が被。 搾出血。 配仁、 肛門 健興、炸獲、分穀後に於ける配肛 一般波等、外科創御、火傷、准備 肝臓、炸獲、分穀後に於ける配肛 之を根本から治療する事が出来る。 物政出版を製止す

ものが多く、何れもその組成上より鎮滝牧飲の目的には相當効果が認められてゐる。 る之等の薬剤には單事酸「コカイン」、「オヒテオール」、「コデイン」等を主剤として製出せること。

現今使用せらる

を要揮させ様とするものである。 ・ 特疾外用薬の一般適應症 いったんでもようとう 鎮痛、瘻孔等に影がりは特に止血、焼が火傷、創傷等に用ひて特に止血、焼が火傷、創傷等に用ひて特に止血、焼が火傷、創傷等に用ひて特に止血、 の臨牀的醫 治効果に就て

(一)非親血的治療を

必要とする場合

の標準としては、

(二)親血的手術後の

血的手術のみを以て根治的療法と過信してはならない場合がある、即ち身持核の如いは多くは外科側の手に依頼するの外に手段はないと思はれたが、時によりては観には多くは外科側の手に依頼するの外に手段はないと思はれたが、時によりては観には多くは外科側の手に依頼するの外に手段はないと思はれたが、時によりては観には多くは外科側の手に依頼するの外に手段はないと思はれたが、時によりては観になる。 さは局所解脈の鬱血を去り、その部の炎症を除き又は抱水クロラール、香鉛素等 通俗に痔疾と称する疾患には内外痔核、痔瘻、脱肛、 製創、肛門周圍炎等甚だ多

來

法療疾痔

從

文は合社代表 電話三一五一へ作業係で御指定を削は右の外に 電話三一五四・三一五五を削は右の外に 電話三一五四・三一五五を削けるの外に 電話八七八一・五九九九

製品一個編輯析、

鐵門家屋、豆豆

要目 | 行、鐵鐵管、鐵鋼、築鐵並

興綜鑄物、酸素瓦斯械類、設計、製造、据

第11011日報

契約高の多少に不拘御電話のり次第係員参上御相談中上ます 火災、海上、運送、自動車 險

哲商自次譯圖 二向修道版大

保

授事を賜はり廿五日午後務中にあらせられるが廿

軍隊の處置至難 馮下野するも 政治的解決に腐心

温泉民味氏の関係は目下のさ 能めて密接であって張単良

御慰勞賜餐

莫全權や召還

善後策協議か

停頓した露支交渉

の有効を起鍵しそのため食式食糧にカラペニ の配行さいる一致さ年七様保験総定の配行されるのではままる事において解 自の配版に製造しませいて 動力の配版に製造しませの野野町町 の配版に製造しませの野野町町 の関係で製造しませんが出 で第四條の自案職権及首領、 の割場所へ追談の如きは支那 イノフ氏の電報と一九二九年

アス最常ジョージ五世際下には今 5推解すると、リス最常ジョージ五世際下には今 5推解すると、サス最常ジョージ五世際下には今 5推解すると、

遊ばされた。

しぬるためでありさ 那個では語ってゐる、從って

南京で交渉希望 莫德惠全權に代つて

英國政界の危

にある

英自治領の

關東廳大異動の

顔ぶれ觀測

日英米佛伊を博、共岡自解棄を 仕方がない。 権つて奏れれば

自由貿易

英政府は反對

形勢は政府側

に不利

モスタワに悪歌するこさを見合は 感覚せむさもた四名の代表は一時 のにあるもので、通際問題のため

財政難を説明し

極力諒解を求む

政府、海軍首腦部に

長江共匪の暴虐に 列國が共同自衞笛

自衞的武裝

破血團に對し

を脱く比較進められついめず有を続け且下日本版 に配う名詞の共同の語類を織すべく在上版の日 上版二十八日費電通」を注源場名単の1 近く司令官會議

これに代り西北軍の地力は山西省 は山西一省に跡しては常分をのまったの窓であった西北軍鹿 郷天源に降戦しこゝに時間は大郎 ったさつて経大の窓であった西北軍鹿 郷天源に降戦しこゝに時間は大郎 った とうを かんがれるさる事さな 「上海特置せん日孁」用泉政府に「に入込み、他は船と全部は南方さ」、抗蛇で名みのがれるさる事さな 蔣張會見の用務 當面の重要諸問題協議 するに決定 しよい 兩軍を 氏の希望もあるがなほ未定である の発後問題を政治的に解決する。形であるが、これ等山西、随西

ら迎き古果に飾つたが。

野して外遊するい。 るか、下

るさの眺もある。比較には脚縦横である、山西軍は完全に不緩緩か一型つてはなほ多数太原に臨止まり向れかへ移動せしめんさしてお、一切だが、最も注目されるは軍隊 目されてゐる、緩大會場の連中に見てはこれを承認して陸比二省よ 汪、憲三巨城の太殿會局の内容は して且つ際反勝軍の措置さして注中央に歌艦族を要素したさころ用 はなほ職能職さされてゐる、既、 聴戦はないが中央の野陸面間職を中央に歌艦族を要素したさころ用

できしのがある、これ事は陝西の できしのがある、これ事は陝西の野阪西間駆き る職を考へるを孫氏の役職に魅ふ

つかある、孫連仲氏の中央に帰返ったのは事実だがその軍隊の大部 ★縁の人々は「が配

数道敷設を計畫

熱河省政府當局が

氏に博士號

に教授者で決定したそのお論交付 ・ 大には士論文を選出中の建この標 ・ 大には士論文を選出中の建この標

失業公債の

發行否定

に衝撃した

機調會の結果左の二項が

では、 一百萬元の市助をなす事 が電融出資する外、園長 一百萬元の市助をなす事 が電融出資する外、園長 本州産軍馬時 本州産軍馬時 本州産軍馬時 本州産軍馬時 本州産軍馬時 大流 暖る

大臣の記して十九日本をは二十九日本をは二十九日本をは二十九日本をは二十九日本をは二十九日本をは 海軍游 けふ海軍省で進級會議

東京廿九日發電池 三千度間乃 ・如く際へられてあるが 常上配様 ・如く際へられてあるが 常上配様

でヌクレイン酸に関する研究」で 一次で書かれ三編より成りその他に 数学能文さして十三編かる。 氏は大正六年島取中學卒。十 作国清麗學堂を本業、享天智院 科に留學、昭和三年二月勝任も 整大智院内科魯員さして今日に 至テ本年卅一後で特束が隔目さ

事が議で、安保を 京電池] 海軍遊艇

市衛生係新施設

豫算一萬七千圓計上

解して臭れゝば眈眈縦に使用して

を歌上し市會へ振動すべく目下税 | 虚芥運機 のためサイドカ 原でなり一或が繰り一銭九型三米 一関でなり一或が繰り一銭九型三米 一関七十銭、これに脱作機 増加で、一立汚繰り七原八型光系 になるがサイドカーを使用する時 に位置を超しなっても連続回数の で、一立汚繰り七原八型光系

西部戦線 要常な

新小貝お江戸八景澤智

端 木首節、新碳節 佐々木清子

| 「臨御、御演説

英議會は

皇帝親

解説の會具、來月、

天津か所品

演曲館具都々逸、米山

の高速度忠臣滅 柳家 写太雄質 都々逸、米山 雲井 武部

大観小観

群氏、依然、政治解決に急にして共康、同繁させで。 棚及んといふ。除り披掘されるさ 南京館、撃天脈な多戦、栗路に 郷天がガラ 天下家不也。

時間清解決か。 解押し、結局、管機の行司で政治 が投票が配で大祭が貼くさ。いづ ゆの中か。



以時十分





日東蓄香器株式會計







いひ、あんな個人は安都には苦いいので、質名は緑野低気で 小院「総数記」について語がは 町へ自ら道具質ひにいつたのだ何んでもその前後、孫氏が源途 積燈 ある。またしそれ

となどもあたが、その変を(で変り、 気が料理の日本化さらいふべき が動産は一人一人日本式の思情 に盛り、慇懃に、日散ざ、手機 に盛り、慇懃に、日散ざ、手機

800CC(-#)\$5.00

走

生

他から見なってあるさ

献車の僧儀は優に走り、生活し

る支那の時間か、この他人は何

館の経際による変食が開かれた ・ 大型な住の中は解大 ・ 大型な住の中は解大

大沽、石家莊間 た若いが走るこさは自

0

師も深世の膨のやうなものにす氏も、顕夢良氏し、紫化し、料

とお悩した飲老者のスト (で変形では不思いさされ) あるさ

のが呼るさいひ出す。

さて居る。能の難つかわからなって居る。能の難つかわからな

をおした時も、今日支那に第三年を表示した時も、今日支那に第一年を表示に第一年を表示に第一条を表示に第一条を表示に第一条を表示に第一条を表示に第一条を表示に第一条を表示という。

た題る。文明の立際化はその民はいくら贈っても、依然同じ所 病的支部を挙ひにする。走馬娘に人は生きてゐるの思想は、立

大して壁りがなければ既じて公師 滿洲醫大城野

の 大の支票が依による最近の民政等が、大の支票が依による最近の中一名は内地より輸入され金州の増田署長は居理が、大の支票が依による最近の中一名は内地よりで、他の一名は目下同畿内における唯一人の報告なる存資統者に でかほびかいと、こうがし数と もが終足の後低さ目下原変を決し 地が終足の後低さ目下原変を決し ト馬評に、上つてある人々

西事官級でや、陳瀬と得べきもの人が特化するか見俗のかす! 値に

明に顕微したに過ぎないものさらくするさそれは支那の近代交 道性を響けてあるに過ぎないの なく。たど支那の民族政能への なく。たど支那の民族政能への なく。たと支那の民族政能への



聖諭煥發記念日に 關東廳が表彰する

孝子 營口の松浦きよの嬢(五) 奉天の平 櫛 義 政君 三五 全満で選ばれ

教はれた養家のため 安西十周年記念日はいよく、明信日となった。 扁東磯では我が教育史上特記すべきの有意義なる表験を行ふこさになつた。全帯幾十萬の形人中から選ばれ事れの表験の有意義なる表験を行ふこさになつた。全帯幾十萬の形人中から選ばれ事れの表験の有意義なる表験を行ふこさになつた。全帯幾十萬の形人中から選ばれ事れの表験して、全帯の妻子騒孫を表験すべし過程表情の外にわたつて興資中であつたが、各地の有意を表現の書手を記されていません。

健氣な平櫛義政君 日の世間にすら風るやうになった 高等小學校と三、四ケ月でベ戦さ いふ報政君は父にいへばキット計 してどきらないさの子供心から無 が必必とはら機を握してるた。そ

を強受け在の十二時を過ぎて除る | 放なく観覚は本年入月窓に死法| し戳政君のかうした手際い電池し

犠牲的涙の奮鬪

實家へ歸宅の勸めも斥けて孝養

一十二名を選出し野角中の湯重を迫 九十二名を選出し野原報に近て野殿中の小

內地人 本部人の別なく

人百十戸、内地人二百七十一人百十戸、

十數年も行方知れずの

息子の行方

漸く判つて老父から説諭顧

動を解析る際

を襲つたと

既に死亡せるものさり

宮尾東拓總裁

三十日夜大連着

紅蕃 には十二社かり

ハルビンに

初

院は廿八日午前三時 室を繋び根窩内地人を務部したさ派された大泉大尉の 鬼悪蛇地したづ食者を凝し次で分を電池 野弥原要素 総合すると運動食業食用腎一味の 三方面から

中院は廿八日午前三

八日午後一時八分数十個

軍隊の警 埔里の人心安定 霧社回復に警察隊活動

「かかってす」 一般さんの自由には、 一般さんの自由には、 一般さんの自由には、 一般さんの自由には、 一般さんの自由には、 をの四分の一五子。 一般さんの自由には、 のです」 を子 「要になるなら」

表彰される 平 梅

養政

貞操代二萬圓

値切られては應じられぬ

狒々爺さんを一ばい喰はせた

妖妃と恐いおぢさんの問答

サップも五千幅のチップも「チップってかゝるるを取締者、以下鑑賞を記して見れば――一画の く「現は個優優へ入るやうな職に以来調べ を 受けてるた ふー源の器融監から表た初へら

組は準証より配表 世代 日本後天 延の理由

日本リ西したハルピンの初野は一大の「人」では、大つてもいます、無波な下を記す 新造曳船二隻

警視聴に泣 早大當局が きを 入れ

「「「ない」と、 ないでは、 な

事がその原因に非でやで被嫌され 目下調査中

能高駐在所

文部省より

警告か

致經過聽取 杉原主事を招

を成て速れた準線運動の報告で見 の受職に駆けれ三名の所載は必死 に悪戦を論したが認に壊打にされ たこと大勝略に重通鉄網を置い身 にされた準線運動の報告で見

切り崩しに 學生側依然頑張る 狂奔す

代は密く総終する標牒なので交部

包み切れぬ

養母の喜び

で健康なその決心に誰一人類を能

藪の中から發見

小笠原郡守の死體

又被政君の動物先なる摩天仏樂部 しき母に代り

家庭の切り盛り 營口家政女學校の模範生徒 孝女 松浦きよのさん る学代学がである。今年三 近戦の人業から置めるでくまめに世話を解くれさなくまめに変には良き様さして安戦性

をく子弟教育の生きたる資料さ 教政君は十五歳の少年さは思は、、父親に挙載さば極極しい機能が 教政君は十五歳の少年さは思は、、父親に挙載さば極極しい機能が がで、六つになるなくは極しい機能が がで、六つになるなくは極しい機能が がで、六つになるなくは極しい機能が がで、六つになるなくは極いが機能が がで、六つになるなくは極いが機能が

公學校運動會を襲撃

丁一名を殺戮

更に警察分室を襲ひ武器を掠奪

生蕃暴動事件の詳報

の評判

勤め先や近所

暴動眞因 今なほ不明 動せる警察隊

の配因にまた職覧な心様不明なる 永井次官歡迎 早大校友會主催

晚殿會を掛日午後五時より ※連する松井外物政務次館の続迎 大連早報田大學校大會では明計日

所に乙種巡査率戦中)が同期生 人で公學校卒業、目下轄政駐在 人で公學校卒業、目下轄政駐在 での開込みありたり での開込みありたり ありて本目も騒擾者人に加揚しさ)比し常に不平を渡らむたるこーリオ 心資本験中)が同期生化で、目下移吐粧在で、目下移吐粧在で、目下移吐粧在

生蕃の暴動 真に遺憾 松田拓相の話

形店にあり 満洲代理店

はてまては居りますが、美の何れもが第のロジャル の足りないものの様に思われます。 にモデルン ホテルの 食堂部に従事いたして、 とこで今回遼東ホテルが 新皇落成を見るににモデルン ホテルの 食堂部に従事いたして、 男の皆様方に補喫して頂くべく 弦に選束いたして、 裏の皆様方に補喫して頂くべく 弦に選束いたして、 事致しまして、異のロシャ料理の粹を美味求 シャレストランが生れ出た次第で御座いま って食は八十銭より一個五十銭迄、尚一品 を事にいたして居ります。 御宴會の節は御 一人前一個五十銭以上 二十個迄で御座いま での足りないものの様に思われます。 の足りないものの様に思われます。 御宴會の節は御 一人前一個五十銭以上 二十個迄で御座いま でのよれた。 といまして、 といまして、 ののは、 といまの節は ののは、 といまで、 ののは、 といまで、 ののは、 といまで、 ののは、 といまで、 ののは、 ののい。 ののは、 ののい。 ののは、 ののい。 ののは、 のの。 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 のののは、 ののは、 ののは、 ののは、 のの。 の上共の名誉以上に御提供申 かり上の美俚を脅認り無いますい中上ますしては 遼東 ホテル六階 拾壹月一

限り入學を許可致します

随意科實習部學科部各三名民 速成科 禮間節自午後去時至年後三時五名原引

大連自動

めに速に自動車學校へ、但し定員を

收入の最も多く最も早

の世界 甘栗太郎

島易斷支鮮本部 大連唯一の最高は 強補地 技術を有する 小供服専門店の 比の人参エキス

13

A

宿料值下 婦人の生命とも云ふべき 問話三一七一呼出二三八番 飾裝 は

お早いがお徳 三十日より

不場産地より大多數入荷致しました 遼東百貨

東ロシヤレストラン

を整理の上級時間を握て午後四時であると を整理の上級時間を握て午後四時であると の祝の為めに △値段はお奪ね下さるな! △安心して食べら 述の定評も H y 3

五十

いめ、全食焼きす

五四

主乎 養泉

行行信件行行制度在行告信信信告行行行

店理代總國中

(101)

二类四五六

北三回

滿日勝繼碁戰

只あ

反

华二·55年期 华二·55年期

靴穿く

は是非一

度

梅本の

命

御氣に召し

黑革命級上

赤革命短

九四〇

女品

は一般であるとさいではれる程さなりでしていた。 の大護線が市場に全部観の有処以来、上伸をした脱型を見るさ、さくに関すていた。 での大護療により一般世界経市場に、全球の質を取れば、は膨慢金には、 での大護療により一般世界経市場に、全球の質を取れば、は膨慢金には、 がいた。 での大護療により一般世界経市場に、全球の質を取れば、は膨慢金には、 を配するとさいではれる程さなりでしていた。 でしていた。 を配するとさいではれる程さなりです。 でして、というではれる程さなりである。 でして、というではれる程さなりである。 でして、というではれる程さなりである。 でして、というではないが、は一般では、 を配するとさいではれる程さなりである。 でして、というでは、 を配するとさいではれる程さなりである。 でして、というでは、 を配するとさいでは、 を配するとさいではない。 でして、というでは、 を配するとさいでは、 を配するとさいでは、 を配するときないでは、 を記述した。 をこ

相場は

この邊が底か

注目に値ひする

最近の倫銀相場

又今回の変無説師ち五十六面後に 大文配さ れでが料を辿ったのでわる。

豆保合

些臓がするは 臓者されるは は

况(计九日)

○現物前場(早位後)

小時 天10 11350 110140
十一時 天10 11350 110140
十二時 天10 11350 110140
十二時 天10 11350 110140
十二時 天10 11350 110140
十二時 天10 11350 110140

を始めさし、ラデオ、電話、その 院舎付き、アト保合に引けた、 に寄付き、アト保合に引けた、 に寄付き、アト保合に引けた、 に寄付き、アト保合に引けた、 に寄付き、アト保合に引けた、 廉装織落し

が相談練民階級にまで及んだ。

大型(WETT 新文(附公70 株式出来高(武元) 株式出来高(武元) 大型(新英) 大型(新英) 大型(新英) 大型(新英) 大型(新英)

(C出來不申)

報(廿九世

人の耳馬

・ 一九一四年以来一里の勢能は ・ 「一九一四年以来一里の勢能は ・ 「一九一三年から ・ 「一九一三年から ・ 「一九一三年から

際は必ずしもさうではなかつ 理論は、略にその通りだ。俳も

世界經濟の混亂

生

をであり、五月以後、その生態高 をであり、五月以後、その生態高 をであり、五月以後、その生態高 をであり、五月以後、その生態高 をであり、五月以後、その生態高 をであり、五月以後、その生態高 であり、五月以後、その生態高 であり、五月以後、その生態高 であり、五月以後、その生態高 である者に繋しても紫態を懸をだし、四 である者に繋しても紫態を懸し、及は をのフォードの工場では、一濃酸 をのフォードの工場では、一濃酸 をのフォードの工場では、一濃酸

でには来るのは、分野珠

當市不變

维带大

度使へばきつと御氣に召す

衛生工事の御用命は

大連市若納町間加 女響柴田

朝光本坂 等の二の七色電 野・ミュニ語大き娘

奥地市況(戦期)

林 二十七四二十四

株(保合)

アリキ店

(戦刑書送料四條)大連聖標街三丁目大連治療院 一番よく効くものは(治療等日)
一番よく効くものは(治療等日)
一番よく効くものは(治療等日)
一番より効くものは(治療等日)
一番より効くものは(治療等日)
一番より効くものは(治療等日)

さからには マルイバーシュークリーム 滋養豐富美味新鮮 秋のピタニックは 3 Q (B)

遼寧省商工總會から南京で開かれる全國工商會議に

幽貨の調査を提唱

業保護策

2

ありて倫観高にも遊はれて高級部の場合を前にして無限の何ら勝れ

(64)

最近の三市場

では深い考へがある如くにも見らればな流してゐた。何か倫殿市場

獨自の歩み

倫敦。上海、大連の開聯を失ひ

變態的相場を示現

ねるのである

今朝の標金で上版日本向け 大阪日本向け常暦の百二十八両八 大阪日本向け常暦の百二十八両八 大阪日本向け常暦の百二十八両八 かた、これ等は寛に歌派の歌歌歌 五さ止めた。然るに地場根場は標

ない。 は場け、上部とび大連さけ細層像で でおめられてある。又倫敦健境 でおめられてある。又倫敦健境 不備實例 日本商議へ提出

と飼料の給源 是學博士

住夏治

全を表現を表現である。 を表現を表現である。 を表現を表現である。 を表現である。 を表してる。 をましてる。 をもしてる。 をもして。 をもしてる。 をもしてる。 をもして。 をもして

珍票强調

式

本 (金融) (正 九八九兩) 大 引 五八九兩) 大 引 五八九兩) 大 引 五八九兩) 大 引 五八九兩] 大 引 五八九兩] 大 引 五八九兩] 大 引 (一 本 向 を を (金融 と) 上 神 (2 を (金融 と) 上 神 (2 を (2 を) を (2 を

大自然の光線を浄化して 大自然の光線を浄化して

相俟って引援き元盛水。外支那人根後のて引援き元盛水。の大野高値は輸入も見送られ薄間内

クレープペーペー 三田 11イタシフラワーリリーアート 三田 21イタシフラフ・ス 刺 植 出井 11イタシ

一五二八



と廣告

ご装飾

奉答書を枕に

全に存れて「首相さ食具し之を飲みしたいで思ふが希充財養は感じて密答者の趣旨に転続するやうな事は、 で得るさするも大性、海軍原案を以て海軍の正しき主張を貫徹する爲めに感じ得るさするも大性、海軍原案を以て海軍の正しき主張を貫徹する爲めに感じ得るさするも大性、海軍原案を以て海軍の正しき主張を貫徹する爲めに感じ得るさするも大性、海軍原案を以て海軍の正しき主張を貫徹する爲めに感じ行るさするも大性、海軍原案を以て海軍の正しき主張を貫徹する爲めに感じ得るされるも大性、海軍原案を以て海軍の地域に私た際形分布整察書の趣に必要である。 で行れて首相さ食具し之を飲みしたいで思ふが希充財養は感じて密答者の趣旨に転続するやうな事は、 で行れて首相さ食具し之を飲みしたいで思ふが希充財養は感じて密答者の趣旨に転続するやうな事は、 で行れて首相さ食具し之を飲みしたいで思ふが希充財養は感じて密答者の趣旨に転続するやうな事は、 で行れて首相さ食具しえを飲みしたいで思ふが希充財養は感じて密答者の趣旨に転続するやうな事は、 で行れて首相さ食具しえを飲みしたいで思ふが希充財養は感じて密答者の趣旨に転続するやうな事は、 で行れて首相さ食具しえを飲みしたいで思ふが希充財養は感じて密答者の趣旨に転続するやうな事は、 で行れて首相さ食具しえを飲みしたいで思ふが希充財養は感じて密答者の趣旨に転続するやうな事は、 で行れて首相さ食具しえを飲みしたいで思ふが希充財養は感じて密答者の趣旨に転続するやうな事は、 で行れて首相さ食具しえを飲みしたいで思ふが希充財養は感じて密答者の趣旨に転続するやうな事は、 で行れて首相さ食具しえを飲みしたいで思ふが希充財養は感じて密答者の趣旨に転続するやうな事は、 で行れて首相さ食具しえを飲みしたいで思ふが一般な事は、 で行れて首相さ食具しるを飲みしたいである。

表鐵國策樹立 民間合同會社設立案を

【北平特電廿九日韓】シャム王族ブラテャトラ酸下は配者に を回の旅行は東洋の産業が健康してジャムの貿易促進に資 を回の旅行は東洋の産業が健康してジャムの貿易促進に資 でものが目的で政治上の任務は有してゐない、當地でも要 でも変がれ、張摩良氏からは再三の歓迎電報を買った、今 本た葉めた、張摩良氏からは再三の歓迎電報を買った、今

二十年後には

伊國のみ發展

フ黨羅馬侵入記念日に演說

歐洲の諸國は凋落

産業を視察して

貿易促進に資す

ブラチャトラ殿下の御談話

中国の旅行に東洋の産業が農野してジャムの貿易促進に資金のが目的で政治上の任務は有してゐない。當地でも要するのが目的で政治上の任務は有してゐない。當地でも要果、高栗、高栗、唐燕、鏡眼、總餅。支那網、その他の物産の見果、高栗、唐燕、鏡眼、總餅。支那網、その他の物産の見果、高栗、唐燕、鏡眼、總餅。支那網、その他の物産の見に赴き、阿三日滯在して廣州の特産物が調査した。日本滞在中は主さして廣野らず、朝鮮經由日本に直行し、日本滞在中は主さして廣野らず、朝鮮經由日本に直行し、日本は十五年前も訪問した。東洋西學大會が開かれるからそれ迄には是非さも帰國する東洋西學大會が開かれるからそれ迄には是非さも帰國する東洋西學大會が開かれるからそれ迄には是非さも帰國する。

ごう改善すべきか

所 滿洲日賴社會驅遊 出席者

月廿四日午號六時

大連中央卸賣市場

が存氏さら都銀谷駅の會見さなり、宋子文氏が腹裏中央の権力を強めるためその土塞な中央の権力を強めるためその土塞な中央の権力を強めるためその土塞な中央の権力を強めるにめるためその土塞なり、「大阪の政策を関係した。

り、宋子文氏が閲覧に起き南洋範備さの連称交換さなつた調である低で融験進行中であるさ、かくて全國統一の即率級しこれが費用は概要を増加線成を行み、これにアメリカより新式飛行機十基を車を増加線成を行み、これにアメリカより新式飛行機十基を収成群派の財貨を終へて概く政府の基礎が固まりかけたのでこの際は成群派の財貨を終へて概く政府の基礎が固まりかけたのでこの際は成群派の財貨を終へて概く政府の基礎が固まりかけたのでこの際は成群派の財貨を終へて概く政府の基礎が固まりかけたのでこの際は成群派の財貨を終へて概く政府の基礎が固まりかけたのでこの際は成群派の財貨を終っていません。

中央政府の委員に

フアシスト

日銀正金の市 場統制に信頼

市

汉(计九七)

記念祭

就任や奉天派拒絕

學良氏が蔣介石氏に

きのふ産業審議會總會に附議 内性解除。安保療根より演算大流 内性解除。安保療根より演算大流 を構理に対しては直に航空隊を して低祭せしめ窓中より級一個中 して低祭せしめ窓中より級一個中 して低祭せしめ窓中より級一個中 して低祭せしめ窓中より級一個中 して低祭せしめ窓中より級一個中 して低祭せしめ窓中より級一個中

さの見地から政局の影響によってする場合に出てたもので関防上ので関防上のでは単常の影響に出てたもので関防上のではなる事項につき国家が命令をないる事項につき国家が命令をないる事項につき国家が命令をない。

補充計畫案を死守

海相ご會見後谷口部長語る

定例閣議

蕃人暴動事件 二十八日子後總務會を開き監証の二十八日午後總務會を開き監証の を連事整理問題 案を急いても来るだけ來年度から實現して質び度い、萬巳むを得の辞期。 を正開達びなく實行せればならまた。 ◆牧韻法實施 軍縮刺除金中より て政府に進

南京政府

直轄軍増加を計畫

にロンドンニナ九日養電通』保売。の全盛を総つてゐる

「ロンドンニナ九日養電通』保売。の全盛を総つてゐる

「中、電点の重要會議を前にして二十
「大日本日の登職にでは「ルドウイン氏の静・
「「一大センセイションを推き聴し」メリカ影節数はグレッド・ディラー氏は「中、漁業総等の職職につきこれ」「日本の織類を確定せらめる事さな」「日本の総類を確定せらめる事さな」「日本の総類を確定せらめる事さな」「日本の総類を確定せらめる事さな」「日本の総類を確定せらめる事さな」「日本の総類を確定せらめる事さな」「日本の総数を確定せらめる事さな」「日本のに関係を有する人であるがことが職職のの。

其他報告

財界懇談會
廿八日第二回 し本日左の如く經驗の停沙場があ

購讀料值下社告

銀網より正副標準

にはないた。 者(東京及び大阪、名 ・ 施銀の代表者等出席 ・ たい大阪、名 ・ たい大阪、名 ・ たい大阪、名

云ふに大性一致し、緩急に順じ 住じて質い度い 近既派に論権あれ

陸軍整理を始め 四政策を決定す

民政黨の總務會で

製施され度い 度鎌算に是非顕だけでも出して 度鎌

昭和五年十月二十七日

北滿要人異動

人民の信仰上に重大なる關係を代表の建設資金も相常準備も居れる今日、別かる風波を開くは、れる今日、別かる風波を開くは、れる今日、別かる風波を開くは、といい、のをは、野なるのでは、野なるのでは、野なるのでは、

英國保守黨動搖

ボ黨首に辭職を要求

で 【ハルビン科を甘九日曜】特別屋 することになり後低には米裕線前することになり後低には米裕線前で北平の軍要位置に業戦 がある。 張紫源長館・當分

諒承願上候前承願上候一ヶ月 金一 圓 二一十 錢一ヶ月 金一 圓 二一十 錢十一月一日より從來の購讀料を金拾錢値下げ十一月一日より從來の購讀料を金拾錢値下げ

は完全な標準でなければ完全な標準でなければ完全な標準であると計画の野手が更正されてあるといいますがある。

であます 場際器に関する大橋の確認を市 はりたいと思ひます はりたいと思ひます 最後から終隘を決功しながら。由一時にも甲上げましたやうに さらかく各自の問題を強かしながら。

關係各權威の座談會の

市規則に定めたせり配置に帰さ なく際内するので、犯判が全員 なく際内するので、犯判が全員

るこさに先づ日本人館の館質人して職々協議の総系、総局多數では標準報告のて全盤すらお正に権利を持ちつて全盤すると同じに表現を持ちつて全盤するという。 に吹着せればならんさいふ機連める必要を感ぜられ、一方微彩

から、 大きに駅野市場の観覧されてので情んです。そのまい今日に 大きに駅野市場の観覧されてのおります。 かい 大きに駅野市場の観覧されたので始さんののため線離されたので始さんの ない。とのではいさの観念が強かった とのではいさの観念が強かった しばず、そのま、今日に でも實際したので、定難を作成した。 反響を鳴ったので経過でとするに致った。 した。 反響を鳴ったのでに対したのは出した。 反響しまいてはありかまいてはありかまいては、 はいいのでは、 はいのでは、 はいのでは ・は奥地行――終に生影 ―上帯標版の約八十ペ 市場で建つて駐に徴めた大概日に重脳な置かれ

はければならねさいふの して定戦さいか。市極がよ をあに焼ぎな下し離く。 で土地事懐によって鬼ー練のう 機能を發揮し得るや

歌の二點共戦に**論事進行上の**希望 【東京二十九日**景電通】 難に逃去 見た吉林地方人士はその成行につ 職めたる後間の 歌歌を吹きため都郷を継告に 石井省一郎氏叙勲** 紙上に腹へられてぬるが。これを 北郊通会場で前の歌歌を吹きたる緒郷を継告に 石井省一郎氏叙勲 紙上に腹へられてぬるが。これを 北郊通会場での二點につき二上輪長より各時間 た の質問も許可する

た組織が一書よいのではないか を思ってるます。 のは範貨人が暢覧人を業れてる のは範貨人が暢覧人を業れてる

事物が正感でないさいふごさの こさの出来るだけは市が根密に こさの出来るだけは市が根密に では、とすれば危敵が健ふ、さ では、とすれば危敵が健ふ、さ から練覧事務だけに見ての役争な から練覧事務だけに見ての役争な から練覧事務だけは市が根密に ときなることと、その提入

海軍の補充案は

最小限度のもの

省部結束して主張

会員の野力を失い唯一の若き被 我イタリーの敵は我師場にて着 、就学準備を急いでゐる、然し に現在の歐洲諸師は皆奏順して は現在の歐洲諸師は音奏順して

莫全權召喚の 中止方を提議 學良氏が南京政府に 奉駕の特殊關係を理由に

来によれば歌學以氏は郷天さソウ 京政府に謎と認識したる郷によれば歌學以氏は郷天さソウ 京政府に謎と認識したる 東徽都全権の召遣を中止せよさ

には基本財産さなるべきものなく 能中するが財産が受けこれれ欧細して にするかな市役所において健康的 にするかな市役所において健康的 にするかな市役所において健康的 にする。 力行會の 改組方法 組合制論有力

リ 刻たる画家はイタリーのみさな 日 ズムに対する間がは既に行はれ 日 ズムに対する間がは既に行はれてあるあらゆる事が反ファシスト宣傳のため利用されるであら う。過酸余がミラン及びフローシンスでならた宣舊は「歐洲からその 個著 者の假 面を破り去 しまっが平和的交渉を増進し得る に リーが平和的交渉を増進し得る に リーが平和的交渉を増進し得る で十七日数したさ 利用して中國の政治侵害を企画 利用して中國の政治侵害を企画 利用して中國の政治侵害を企画 やの定時別法とことを陰謀し戦時 中の底時別法とことを陰謀し戦時 中の底時別法となる哈府場定を絶 するも右の如き違反行為ある時 は確支協定に基き無條件にて東 は確支協定に基き無條件にて東 での取すべし 《奉天電話》 多獅島築港 調查委員會

| 【ローマ二十七日登電通】イタリー | 一直機ムツソリニー氏は二十七日 | ファスシスチ | | のローマ | | | | 入九周 | | |

◆定期後場(銀络)

引に無味平凡なる場面を辿りて大体燃差したる人氣も引立たで各品 各品保合

後高、總新七十錢高さ張保合を呈 市も新豆九組五十錢、錢勢十四 面 市と新豆九組五十錢、錢勢十四 面 大一餐、建舎みを報じたので含

回収の激励電を全國民衆一致の名 外交協會ではまたも左の如き 3 鐵 外交協會ではまたも左の如き 3 鐵

遼寧外交協會が

莫全權に

内地株强含み

式

當市强保合

い外に織するさころがあったこさ は喜ばもいこさだ。これが本館の 「磐麻猴です」さ湍纜交査器では 大警び

綿糸脳含み

0定期後場(單位語)

を搬へて安保機械からお上蔵様にする者部一致の對案を作成しそれ

ので一瞬川中に改めて後部間に

有力さなりついある

明治教育の

回顧

の普及と賞墨の歌剧さを眼目さしたのであったが継渡上直に全隣に えなぎ寒の歌剧さを眼目さし

教育の内容は依然さして質利主

育に贈する財語の僕番があつたの あり、翌二十三年十月、農くも歌 月皇室典範及び幣国憲法の番布が 月皇室典範及び幣国憲法の番布が

一杯され、其本では、其

共

施の傾向を生

明した。 であった。 でが出た。 でが出た。 であった。 でが出た。 ででドイン学と とかった。 でいてに、 でいてに、 でいて、 でい

である。 配して関連の登録を描いて歌る。 配して関連の登録を描いて歌音をして関連の登録を描いて歌いている最もであ

苗高等小學校長

松

與

工態性教育療験の一致粉に做したいで思ふ

治

初

年

事さなつたのである。 を放いしのであった。四世の なさないしのであった。四世の はきないしのであった。四世の はきないしのであった。四世の はきないしのであった。四世の はため、 はため

制時のである。

神教神教師の現代に過ぎなかった。 ・大変会以来、教育に関する決会 を関係しましては全くアメリカ質 ・大変会以来、教育に関する決会 ・大変会以来、教育に関する決会 ・大変会のであるが、他

季端放低に四る確断観響の外を総のしるが微端に送しかつたがためにいているが微時の大心がまだく

野治ナ八年電線の大吹吹があり、 大いで被対部大臣に依る単接会の 大いで被対部大臣に依る単接会の

を現てしようさするに要ない。 を現てしようさするに至った。人 を現てしようさするに至った。人 の「一人」というでは、 の「一人」というでするに一般では、 の「一人」というでするに一般では、 の「一人」というでするに一般では、 の「一人」というでするに、 の「一人」というでするに、 の「一人」というでするに、 の「一人」というでする。 の「一人」というでは、 の「一人」というな、 の「一人」というな、 の「一人」というな、 の「一人」というな、 の「一人」というな、 の「一人」というな、 の「一人」というな、 の「一、 の「一

別様である。社会は関するれた。 別様に共の際一般が確立したので ある。社会は関係一般が確立したので 対策の悪源は側切された。政治に 数育の効果と 数音のも監察である。

かにされてかた。が供しなることが降

ある職機をならてゐるこさが写際 がにきれて来た。が佛し嗣よし既 かにきれて来た。が佛し嗣よし既 かにきれて来た。が佛し嗣よし既 の世談で統一がもつこ深味の

で変越いものがわる。

したものではなからうさいふ見方 続すべく理論したのを共優に採用 概知製の三際士が他學派を排斥採 概知製の三際士が他學派を排斥採

製であって、當

SEEK.

SHALL

英譯の教育勅語

大連第二中學校四年 安達武夫謹書

が彼らに外側の交衝に心脈して自 我教育に関する勅語は明治大帝 をあっやうになって変大事であ であり、又関家の教育は関民の思思想問題はごこでもいつでも関家 の力に突たなければならないもの思想問題はごこでもいっても関家 の力に突たなければならないもの

西內 おいた。 であり、天園家の教育に関氏の思いたりないものであり、天園家の教育に関するのでものである。 であり、天園家の教育に関氏の思いたのであり、天園家の教育に関氏の思いた。 であり、天園家の教育に関氏の思いたのであり、大園家の教育に関氏の思いた。 であり、天園家の教育に関氏の思いた。

ではありませんでもうか。 成種乳 はありませんでありませんでもうか。 成種の思想界には世界ののいびは、 大臓型に動物の性性など、 思知的に関節と来の呼びは、 大臓型に動物の中にこのを厳思なのでありませんできたこの難しい意形をし中には我自然の性性など、 でありませんである者が絶野でないものも見出されているのも見出されている方がない。 成種乳 自然を受けるという。 成種乳 自然を受けるという。 成種乳 自然を受けるという。 成種乳 自然を受けるという。 成種乳 自然を受けるという。 は、 でありますが、 というに、 といい さは官民の最も緊急を要する日本では官民の最も緊急を要する日本

地能でいる歌奏が經濟的に國磁に常 ・ は、所來我國に於て思極麗 ・ は、所來我國に於て思極麗 ・ は、所來我國に於て思極麗 ・ は、所來我國に於て思極麗 ・ は、所來我國に於て思極麗

教育勅語煥發

史神話の教育

は、 の外にも一層は際に在始なる にですかこの機に際してそれ等有 ですかこの機に際してそれ等有 ですかこの機に際してそれ等有 ですかこの機に際してそれ等有 ですかこの機に際してそれ等有 ですかこの機に際してそれ等有 ですからのます。 あめられる様

のここを痛切に数へられるのであ の東の数官に力を傾述せればなら

想をの流れとき

一個で化の登選上決して有利でなるでから、これの能のここであるのみでなく。

75

がに力強き動いてこ が深ついてこ

必ず治

治られの鍵でわ

歌って「那眼の脚 等へた大官もあつた。園より之はになったが、迷ら の心情心便なることを理由さして とを英語に取換へようと、本無になってが、迷ら の心情心便なることを理由さして 同病者間に大きなセンセイションを起して心臓病を全治した。同病者も多数回復したさ感

橋本八五郎

萬世不滅の聖典育勅語は

私は立派に治した。●●銀は数年前よりなころと

いましたが、ごうしても治らない、どうへ知れならむしる率くさまでして、然じました、極度の 寒寒ではや壁を傾りに歩く有線、竪瀬も野に要表された。腰本原士や東京市衛生試験所の有本先柱なども、たれてもいますしまた一度も話して見なかつたから、सも早波武のイスをしませた。腰本原士や東京市衛生試験所の有本先柱などもが入り目録の要要的を挑映されて居る、昔から腕縛の妙変ださ懐かったれてしますしまた一度も話して見なかつたから、सも早波武のイスをしてよっますしまた一度も話して見なかったから、ほも早波武のイスをよった。といますしまた一度も話して見なかったから、ほとき変異していますしまた一度も話して見なかったから、ほととまでしていました。 大が八ッ目標リット 大端くべき活力派である でき活力派である 云 白 云へ 粉

四十周年記念 語煥發 して明治大帝の大神心に耐ひ率る こさた努めなければならないさか があるのであります。

四十周年記念日に際して

いらでありま

至った脱版は人によっ気の一工夫であらうと

じて根強い生

大連第一中學校長

Know ye, Our Bubjects?

Our Imperial Ancestors have founded Our Empire on a Basis broad and enertasting and have deeply and firmly implanted wintue: Our subjects over united in toyalty and fileat! pusty have from generation to generation illustrated his broadty shereof. There is the glory of the fundamental chieverlier of Our Empire, and herein also his the source of Our education. Ye, Our subjects, be fileal to your parents, affectionate to your brothers and sisters; as lives and serves be harmonious, as friends true; bear yours lives in modesty and moderation; extend your benevolence to all: pursue learning and cultivate arise, and thurby develof intellectual faculties and perfect moral powers: furthermore advance public good and promote common enhances; always respect the Constitution and observe the laws: should someogeney arise, offer yourselves courageously to the state, and thur guard and maintain the prosperity of Our Imperial Throne coval with heaven and earth. So shall ye not only be Our good and faithful subjects, but under situations the heat traditions of your forfathers.

The way here set fresh is induced the teaching bequerited by Our Imperial Ancestors, to be observed which by their Descendants and the subjects, infallible for all ages and true in all places. It is Our and to lay it to heart in all reverence, in common with you, Our subjects, that we may all thus attain and to lay it to heart in all reverence, in common outh you. Our subjects, that we may all thus attain to the same virtue

増加し来り御楽院の宏大無遇な軽供職激の論をなすものが次節

. The 30th day of the 10th month of the 23rd year of Muye

田、副島の知き出あり、君側に元。明島の知き出あり、君側に元。他に奉ひにも、民禰に長

めたら、我が順の

我

であった。

心身などめ、 新の初めから、明治

会議をれてゐるのであ 不高まり内外の試験も一二八年職後に於て國民

部か以て、中日以外間をのみ観察

育の制度は機関は

生態を淹へて対窓繋いたらます。 東京五二八〇九番

胡蜂園粉

美しくなりま

完全にふせぎます を養ひ、滑らかに

お化粧效果は 白粉が種くお樂に お化粧くづれ つけた白粉が たしません 1

は難が出現しました、私は早速その日から駆みますさ、 はの定むる、治臓腫瘍を多種臓能能して弦に質に見事なっる事なく分離と抛出する事に成功しました。その抽出標

御定評通りの

白粉下と つぼみと 0



ぬらなてく無に粧化さ

下当の はいか た と が か なく は が か よく は が か よく は か か よく は か か よく は か か た と は か か た

B

ADIN

と大官屯の

紅い唇、ほの暗いランプで

歩 よ 戦 勝 者 の 誇り

奉天各方面における

國境防空の

安

戰圖機演習

四機入亂れて活躍

東地方事務所に続ては終二派間

教育勅語記念日

ける沿線各地の催~

一方記の利り継続を 一方記の一方の 一方記の 一方記の一方の 一方記の 一方式の 一方式の 一方式を 一方で 一方式を 一方で 一方式を 一方で 一方式を 一方式 一方式を 一方式

齋藤氏の視察

熈川郡の山水

その後防火の効なく

三着極光(三馬卓)配合

火勢猛 烈に延焼

守備除來溪

に供ふ私

の味に久永

品明發

后商 義 野 鹽 計會 店廠手 洲滿, 社會式 株產物本日

本

溪

湖

は十一月三日原陵見學、帰途南井 子に下車回場山麓で被の日にふさ ではい 鬼精をやるさ

職に付き第四大隊第一中総第二十四大隊第一中総

職に付き第四大職都一中職は十月 三十一日午前十一時六分妻列車に 「本一時二十八分權の列車にて整次 「するこさトなつて居る艦日市民の 開設である。 送速の現なるを今より 將校の送別宴

いに姉美

いなら変

り良の香

元の

民(毎氏代表) 二十七日天 総大の無味を以て悪くて居る常氏(河北省皆様) 二十七 る前恋歌な命でどめる学の市民は後より来等

一十 平泉飛六線隊第三中隊の國際院空 十段さ言ふ粉行の懸露あり次で第 日より解析すられ線隊標底、空中 あり人類に頭がうるにも沸騰し二 つる 日日の像大なの歌ができた機能をで、空中 あり人類に頭がうるにも沸騰し二 つの命大なる歌がを記されば歌舞とれて の歌に満ち歌劇と十二般野を総後 一十 中泉飛六線隊第三中隊の國際院で、十段さ言ふ粉行の懸露あり次で第 日本の命大なる歌がを記されて の歌に満ち歌劇と十二般野を総後 この命大なる歌がを記されて の命大なる歌がを記されて の命大なる歌がを記されて の命大なる歌がを記されて の命大なる歌が第二中隊の國際院空 十段さ言ふ粉行の懸露あり次で第一日 では、大学の歌がない。

第三日目

人氣意々沸腾

関係 とは できない はいます はいまだは せて人 無数 はいまだは せて人 無数 三段 も 概当 と に かまだは せて人 無数 三段 も 概当 と に かまだは せて人 無数 三段 も 概当 と に かまだは せて人 無数 三段 も 概当 と に かまない と に ない と に ない と に かまない と に ない と に かまない と に ない と に かまない と に ない と に ない と に ない と に かまない と に ない と に かまない と に ない と に ま ない と

はたいして配露しなかつたが第六 | △第十一競馬 各抽千八百米一着

新古字、三者音楽二馬身、配告 名左源太二分一三秒、二者星 一類馬、新古字化千六百米、 一 7万分三、二着船生权拍手入厅米一着伏 一門公四十二三、二者総生 された。久で十一時二分學府ホワ 送が正味十分最もハッキリさ

国みよりロンドンのマクドナル首。 個の旅送が十一分間、同十一時十

郷軍東陵見學 三番地群英雄で連掃されたのであ

大連樂鈴舍

特受牌资告名金管博各种

否めや愛 酒家

作明調律・中古交換作明調律・中古交換

樽は吉野の甲付樽よ

酒は伏見の高級鉛酒

電話回三回

相場表御申越次第呈上

名古屋市中區奥田町

藤彦

商

代表電話東七三九四番

向

問屋

頭敷多敷に付各日共午前十時より開始致ます出走頭敷百四十八頭秋日短かく各競走出馬大連、奉天、安東三競馬場の優秀馬競走

安東競馬俱樂部

相例

臨

馬

會

月記

安東競馬ご鎭江山 満洲の秋を飾る

九辰醬油

大学が町に総成したが、家はお服子に、大大教師の料準量が――と言ってもいったがどの家も振踏製にいるのではあったがどの家も振踏製にいる。 一般人が千金素にいる。 十数税の料準量が、古媛子に 歌を中心にもて巻炭酸。古媛子に が、満銭に出郷がれる前には戯校 似于軍―権民で属子人つたのもその頃のない は、 それが はの町の町を取った影弦の大 はだったらう。それからの数多の大 はだったらう。それからの数多の さ言つた風で惨憺たる無腕の町ははさんさなくなる。地代は扱への れだけのなさがある。 戦戦をが合 の「つち」にならうさ気信してるでつてぬるか且つほんさうに振順に生き 通の振順の登成正なら漸緩の二十は極にもない事とは思ふが通り一 「おらが町の歩み」それを読るにこけ首へ今坂城はひ得ない事だ。

後の無税に移って了 ラ天州な総戦子の帯ら張い室でも、い頃のこまだ――のかげでアンマス ても紅い居

あったやうに記憶する)その時間

は二階峰にも朝着であり次で第七は二階峰に水沢一都さなり沸歌の配賞 △第十二韓島 所屬抽籤于四百米 一者聽曲二分三秒五分二、二者 勢大差、三者宮徳大差、配賞四 勢大

大差、三着羽衣一馬身、配石九惠似二分二六种五分二、二清練

三着鯉山大差、配営八一〇秒五分二、二者渡速 教拍千四百米一着光

二者陸辛三馬身、陳當四一分二〇秒、二者金龍二一分二〇秒、二者金龍二

三若飛風大差。觀當四國三三雜馬 哲呼牝馬千六百米 二者收信昌八馬身、二者平

一分一二秒五分二、二者越光 截為 秋油千六百米一着州 組上十錢 三者下時大差、配當五

の遊遊なる日郷に依る軍機説でなったてるさやがて戸山墨校北繁隆をたてるさやがて戸山墨校北繁隆

人妻を賣る 喰へぬ男

一十八日十二時妻にて 機能した。 御里、 郷栄屯の更まで融終、 総天 に引起した成本の更まで融終、 総天 に引起した。 で随京の豫定であるさ

撫順でも聽えた 軍縮祝賀放送 何々々完全に聽取

の理像の動きはあるのだが――。

学次に整分時代から探げめつて来 学次に整分時代から探げめつて来 られやう。瞬もろい人さられるとう 前の撫服のごく一端を語つたまでまれてゐる。むきだもの二十五年 せの九

十月三部十 威ウ

海洲總代理店 滿鐵沿線松樹驛 養 元 堂 薬 巨東洋 發 賣 元 東京 ライリャム、キャンデー、ワークス事業 上際特約 地賣店を募集す 中の海洲總代理店は弊店のみなり 東京 ウイリャム、キャンデー、ワークス事業 上級に向け、モルヒネの電好を根底より試び去る世界的大震明品なり を品は阿片、モルヒネの画男祭止品にして本品の服用により同片モルヒネは同様の快楽を生ご y 阿 片 P

t ン デ

1 (米洲政府登錄名) **入**(中華興民政府登錄名)

毛 E 0

日本慶應大學醫學博士 和田氏推覧米國際博士ウイリャムデー・マロー

一氏發明

とはいる。

かぐらずし

吉野町金括四六二七

ハム 内地のやげ

牛乳 大連牛乳株式会社

大津 ボーズ 天装置 一年乳 パタークリーム

時計・機理なら

大日活奏小両方の第二二〇〇八年

和服裁縫に心得有者。
※東耳ば店実開部
三井矢服店実開

和家畜診療

大狐は入院随念を描れれる三

家政婦類

荷札封筒紙袋

漬物の素主

海物の素主婦の意

内科性病

· 旅後屋館店

洋服類意製

計語時ドーオフイメ西瑞

弾音計時スィフハ西瑞

込んださいふナンセンス物語 自狐の首卷や

留置場に結ぶ女の夢は? 要求は「発力を持ち出された 笑で問題してしまった。そのう 「愛になれ」で

田 けた姿姿へ来ることに謎が鑑まり」と
けた姿姿へ来ることに謎が鑑まり。

なってるさころあったが、又も数日 なってるさころあったが、又も数日本 なってるさこれが助編を要が なってるさこれが助編を要が なっている。これが助編を要が なっている。 。 なっている。 なっていな。 なっていな。 なっていな。 なっていな。 なっていな。 なっていな。 なっている。 なっていな。 なっていな。 なっていな。 なっていな。 なってい

単型からいい、山東都形景にて電機で、またが、大連製の投稿に 出名が、
一里十夕1で 大連製の投稿に
本他が懸砂しださいふ前側のない
さころが然日午後十一時四寸分ご
事他が懸砂し投票駅の配廊さなっ
るた連帯扇更を織して日本人三名
中他が懸砂し投票駅の配廊さなっ
るた連帯扇更を織して日本人三名
中他が懸砂し投票駅の配廊さなっ
るた連帯扇更を織して日本人三名
中他が懸砂し投票駅の配廊さなっ
るた連帯扇更を織して日本人三名
中他が懸砂し投票駅の配廊さなっ
るた連帯扇更を織して日本人三名
中他が懸砂し投票駅の配廊さなっ
本地の常園更は船道に繋行を加へ
本地でいる前地の地では、
本地では、
本地に、
本地では、
本地では

終始壓迫して

満鐵軍大勝する

支那人船員に暴行を加つ

銅錢を沒收した

サ九日配の社戦で要素になった。 り施行さなってあるが残職実施及 前さいへども客断がさら最楽得る では、一般では、年四月一日よ では、年四月一日よ では、年四月一日よ では、年四月一日よ では、年四月一日よ では、年四月一日よ

黄難はデは大投賣ま早い勝

牛額戏賣大賣出

淸

栗

内地

日本各地名産

十一月五日迄

孤遠町四丁目(領域町突寄り)

丸石洋行

東京風菓子謹製

新 菊 太 『 菊 大 福 」

界各

酒

一級方は 松原でされる留

い强盗の訴へ

月號の許規記事

日来場合統送も出来ることになり いちアメリカの寝暇なり合喰なり もこの認識には軽んで聴する な日本に於ける伴奏で音樂放送が うさ激気込んでゐる へ連海關東相手に

太平洋を挟んで 日米の掛合放送 今回の國際放送の好成績に

ある『安東電話』

能率増進し でにては極力権書献行か要。 た機構にすること、定めた を出土五年のことで、その後 左本 満鐵が横書勵行 愈よ明春四月一日から

・ 大ので、いよく、明年四月一日よ 際代の準備を進めそれも整つ 十三、同地域に歴化するもの内地 の駐在所十七中歴戦を受けたもの 登板を登得一挙社者人職機地域内 では、日本の大学の内地 の消息 內地、本島人

朝鮮根炭 共進洋行 電話三八二 四四町狭芳連大

世界の重要で が、神聖館物、一品料理いろくなる。 知 ち せ 知 ら せ 電話八五〇九・八七五六番大連 市 濱 速 町 帝國館筋 性

東京六 責任販賣

株舗な観りてきた全型和田駅合果の単徒を擦じ一終離れず完全なる「東京将電廿九日襲」一萬三千餘

世三日大學政総學部三年生が先づいます。 別箇の 行動を執るに至

もない過去の数と

エプロン女に惚氣た狒々爺さん

に豪勢な

叶はぬ戀を警察へ

り管機廠では配重撃成中である

安東海關監視人 何者かに刺さる 無謀な身體檢查から

聲援群衆ご亂鬪中 だしきも生命には別様ない機様で る、被害者は早速成田病院に働き まれたが、傷に相常深く出動語

社脈法人窓際後無金は離社寺院を現ていよく一談立をした。この中

對大帝戰

推きをなす 生活に

和 記洋行

日本ビクタ

移轉いたしましたお知らせ申上ます十月二十五日より左記新築工場に

水品の使ヒマスト.アスファル 石油战人 1840 维

電代表七一五五・長七一五五・長七一五天 満屋 木テリ大連市中央トキッ橋町

陸屋根 地下軍其他防水用4シデ

满鲜烧什理态表平洋行 大建火山鱼六一·建长大四三。谷

御安心の出來る。 連の詩い評判の ななな

心中巡查死す 行び午後三時盛食禅に作 ひかなすっ 合は終務部長に協議のうへ つた、国に監督官職等に送る書類 特別の

度行は、してるませんが假 名タイプライターの練習し追々

きのふ關東廳學務課 全滿警察へ

高選者發表さる

一等該當者なく五名を選出

支、英、獨語講習 贈物の謝状 長から本社へ 中谷警察協

新祭落成記念さして常に州内外に

青年會語學院

本権選牒工場の機関に誤り選牒で 業務を開始

のル

阪資店大連宅の店 福坚麻茵大會指

住を見る 罗出向島間 前來品に優る國産品 秋から冬の帽子は

所ではた記へ 「いいでご徒、北一茂、外一歳中 がではた記へ 「いいでご徒、北一茂、外一歳中 「いいでご徒、北一茂、外一歳中 「いいでご徒、北一茂、外一歳中

* H の記念日に 市内各中學校の催

奉祝體育失會

で外飛艇技場で外飛艇技場

晚秋

0

大連大廣場

◆大連第一中學校

◆大連第一中學校

◆大連第一中學校

「、聖論野路

◆大連羽 水學校 素學校 素學校

高等女學校

教。育。論。文

後つて腰島トライゴール成らか (工 事) 龍村本崎田宅綱村田山田本吳島里

が設では戦音動語機登四 に事業の一さんて、且つ に事業の一さんて、且つ

職業作成上の参考の

原與月保邊田川石中編稿高名野尾柏松上新遊關金大田古高森总浦峰

派に分裂か

更生生

學校側の切崩し奏功 憂慮すべき早大騒動の前途 交に (歌音) 三等

論文當選者

で て一萬三千の學生が二派に分れて 根據戦する時は今該の平職なスト を懸念されるに至り、早大監伏事 位旧生云を さしはまむ萎慮 とて學校館局の聚職が見事に燃か残ら を作すして學生館物との要目を見 をいますして學生館物のののでは、若も

隆吉

E

星野 查松

岡田米太郎

利立当 五千冊を歌上し 東國保者に二萬五千冊を歌上し

法政辛勝

横濱市神奈川區守屋町三丁目三三個二

郵便私間商本稿。四三八五八里話本局図二二一八。四〇二二。四八五八

一蓄音器株式會社

部へ避てれた。 ・ 変形の死性は単陸戦本

をは近けて、単夜中の二時が十分 な子は、解時間を見た。いつか な子は、解時間を見た。いつか

川日本郵船出帆

要目「汽罐、汽機煙突、各

鐵並真錦鑄物、酸素瓦斯種機械類、設計、製造、据

三 近海郵船

一件木真

00

そこで温夜が行けれ

B

ースーを観の観のやうに残っては でいるのはこの聴じかりだ……」 資子は、そこの難に触を残せて 変子は、そこの難に触を残せて でつき駆略な燃料を見やった。ス

るつて云ってたし

大阪商船的版大連支店

がて続しなく作えてゆく。その

起いて、時に

たる歌野の総後を見楽てきた自分と なく歌野の総後を見楽てきた自分

連鎖街

MILLION BILLING

居ります。

かいたのか。とう個も出来に浸み出る。……昨日

観は他のために

74

大阪商船的以大連支店

吹夕モ赤自首 付 ライビ貝勒

語の歌さなって止まるさ、

力を中心しない

歌の音響を云って見ては、他分を 京子は風心の呼吸に、こんな味

を持てるる。…… 歯野に養しをけてるる。…… 歯野に養し

は、 魔の縦掛なびた起かに

國際運輸院大連支店 國際運輸院大連支店

四八八五番 水 郎

さが吹から吹へき縁返

へ除るでもない京子は、何一うが歌いこさなしたわっ

艺大阪商船山帆

が後から追びかけた。そして、強しい限の中で茫然で容皇 で、難しい限の中で茫然で容皇 で、難しい限の中で茫然で容皇 たが、ごうしても、凡ゆる人生が、掘れかつた京子に、東野の死が、掘れかつた京子に、東野の死が、掘れかつた。ため、東野の死が、掘れかつた。ため、東野の死はくれなかつた。ため、東野の死が、こうしても、凡ゆる人生 てこの汽車のだ かくさころまでなら

なの解散、また、真野に黙する良 のの解散、また、真野に黙する良 一个頃は、その居なくなったこさ 人たちは根の代方を探すだらったかしち……若し解ったら

京場会所 九二 南 會 京場会所 九二 南 會 日本 類解線大連 出張所

本邦唯一の精良品 の対象を表現し、五〇〇一

商日

オートバイ中古品質目を対象を指自動車が指自動車が指自動車

→ 2000年) 1900年 | 190

船大連出帆

できない思ひで、人々の服を備ん いようく、こ外へ出た。 かへ出るさ、別

取職んで今後の野崎のが針など分工器の軽工窓は、東野の花盤

で、一般の対し客車の中の方のも、カーテンか引いて、東に角、成した。 製の対し客車の中の方のも、カーテンか引いて、東に角、成し

可朝鲜郵船」並出机

治新最

使用が一番安全 である。 ものが多く、何れもその組成上より銭締牧飯の目的には相當効果が認められてゐる。 もともの業務には単準酸「コカイン」、「イヒテオール」、「コディン」、等を主剤として製出せられ 現今使用せらる これには坐薬

次語伝のものであるから様性症であっても、 之を視るから治療する事が出来る。 まら、無害、無利難で、その作用は映して一過低の 麻酢作用ではなくて、排飲され、無利難で、その作用は映して一過低の麻酢作用ではなくて、排飲である、水塊には麻酢薬で飲料を刺激するやうな物は 絶動に含んで みない 價格 (金銀) (**)

ヘルミチン の適應症

とは如何なるものか

るものである。

然らば外科的手術

の三つの場合が主要な

その

題念的趣置

を忌避する場合の

此處に簡単に説明し

き疾患に對する保存的療法に奏効し、且つ注射療法、又は外科的手術後療法に應用して十分な効果治法ではなく、往々にして保存的療法の簡單なる操作が患者に意外の喜びを驚す場合が多い。然為はないなく、往々にして保存的療法の簡單なる操作が患者に意外の喜びを驚す場合が多い。然為はないなく、往々にして保存的療法の簡單なる操作が患者に意外の喜びを驚す場合が多い。然れたいまた。とないない。これによっているが完全なる根治ない。これによっているが完全なる根治ない。これによっているが完全なる根治ない。これによっているが表生の表によっている。これによっているが完全なる根治などによっているがある。とれている。これによっている。これに対して、これによっている。 焼が火傷・創傷等に用ひて特に止血・ ルミチンは古來明遺油又は卵黄黒 治効果に就て の臨牀的醫

似石口 鐵橋鐵桁、鐵骨家

人連機械製作所 電点 製作所 本 店 大連市沙河口達山町

電話ニニ〇三者

會株社式

に合計代表 電話三一五一〈作業保で御行定を問は右の外に 電話三一五四・三一五五を問は右の外に 電話三一五四・三一五五を開ば右の外に 電話人七八・五九九九年業保証 一年 第一条

| 選携養諸掛金の低廉 | 一選接替用金の低廉

契約高の多少に不拘御電話り次第係員盤上御相談中上ます 火災、海上、 三井物產熊大連支店 運送、自動車 保

透离古太泽游。二时传送版大

の来

法療疾痔

從

を機構させ様とするものである。 ・ 持疾外用業の一般適應症 (一)非概血的治療を の標準としては

(二)親血的手術後の (三)外科的手術の必要 あるも、患者の之 必要とする場合

焼灼療法、結紮療法 之れには注射療法

と自然痔疾の療法

術を列撃して見る

叙上の外科的手

法がある。

及び切除療法の四

子指(水むし) 河籍(いんきん) 一般漢語、外科創書、火傷、破傷 一般漢語、外科創書、火傷、破傷 一般漢語、外科創書、火傷、破傷 一般漢語、外科創書、火傷、破傷